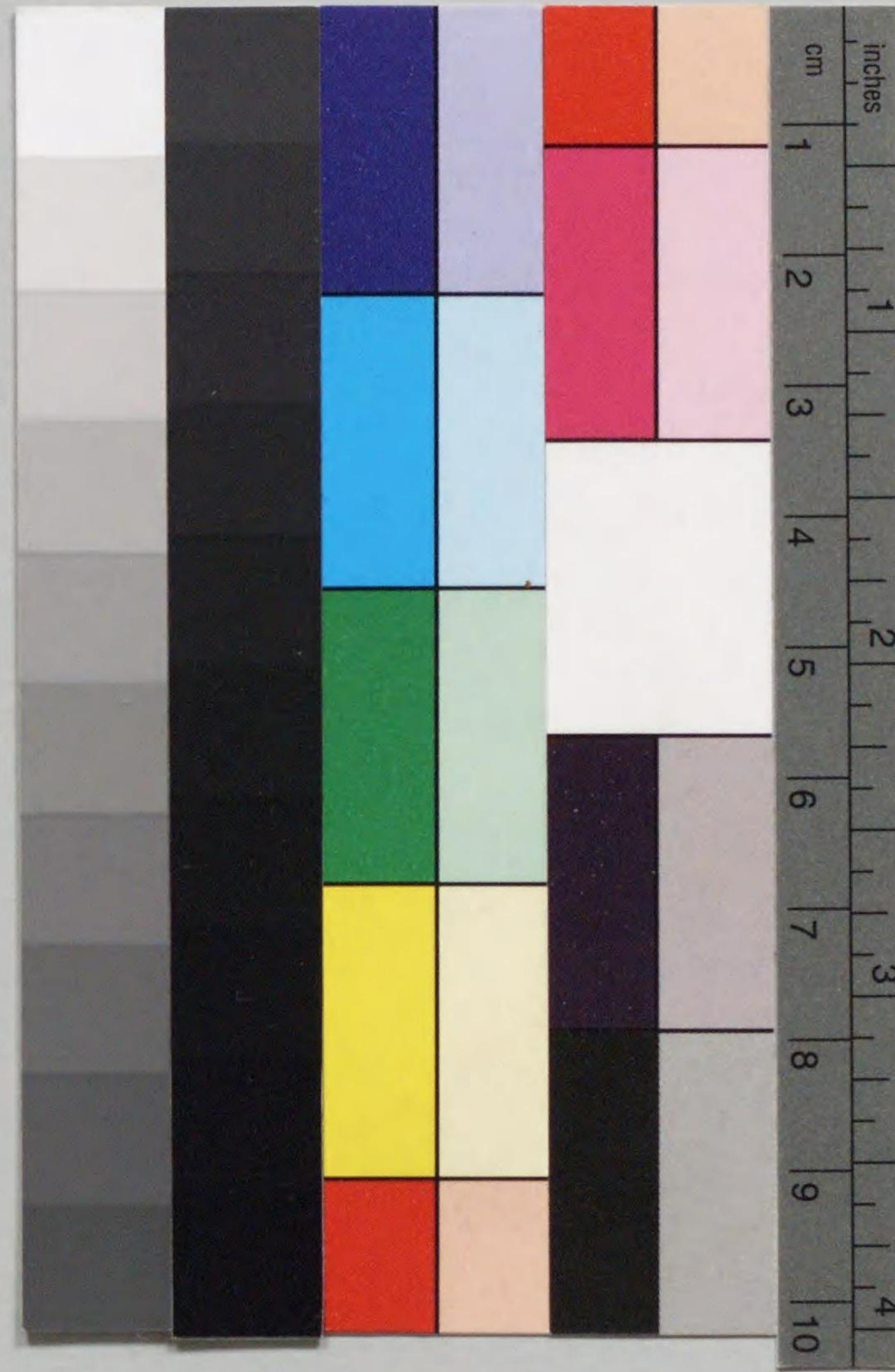


GB521

166



01028469





27 E56

GB52

166

年 一 月  
一 號

支那事變に於ける帝國海軍の行動

(其の二)

(海南島攻略後より北海作戦まで)

海軍省海軍軍事普及部





支那事變に於ける帝國海軍の行動

(その三)

(海南島攻略後より北海作戦まで)



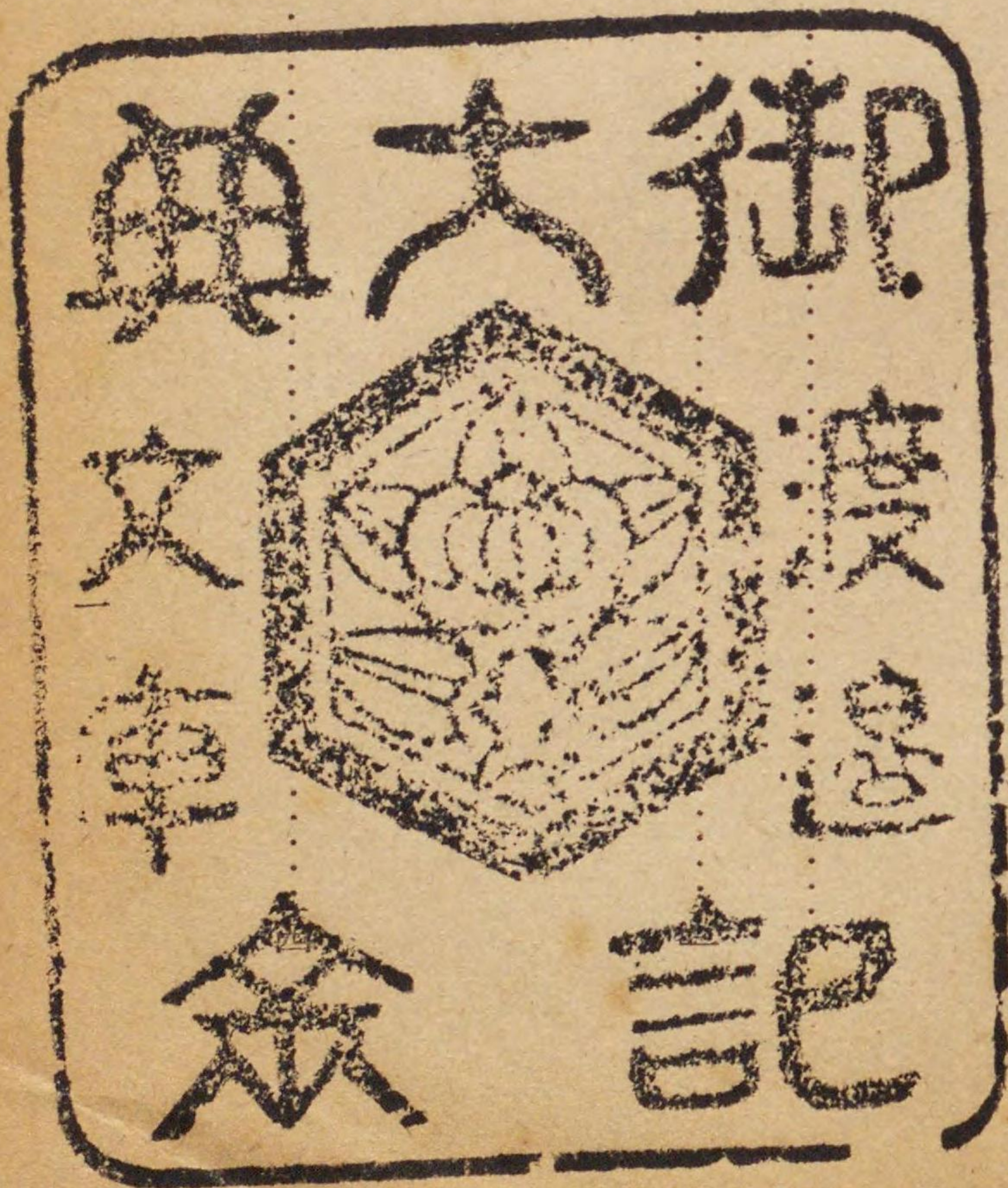
GB521  
166

支那事變に於ける帝國海軍の行動（その二）

（海南島攻略後より北海作戦まで）

目次

- 一、海軍部隊の作戦経過……………
- 二、海軍艦艇及陸戦隊の活躍……………
  - イ、南支作戦——海南島掃蕩戦……………
  - ロ、中支作戦……………
  - ハ、北支作戦……………
- 三、支那沿岸交通遮断の強化……………
  - イ、抗戦輸血路の閉塞……………



393.2

1028469



海州占領

汕頭攻略

舟山島攻略——舟山叢島の掃蕩

ロ、南支沿岸の封鎖強化

ハ、支那沿岸封鎖と法幣の崩落

四、南昌攻略戦と鄱陽湖畔に於ける海軍部隊の奮闘

五、洞庭湖上に於ける海軍部隊の奮戦

六、中山作戦

七、北海作戦——北海作戦の意義

八、海軍航空部隊の活躍

イ、南支方面

ロ、中支方面

ハ、北支方面

九、支那事變海軍作戦經過一覽表



## 支那事變に於ける帝國海軍の行動 (三)

(海南島攻略後より北海作戦迄)

### 一、海軍部隊の作戦経過

海軍艦艇は日夜、寒暑風濤と闘ひつゝ、支那沿岸の交通遮断を續行して敵の海上輸送路を杜絶し、或は沿岸の要衝を攻略、閉塞して更に封鎖の強化を圖り、或は陸軍部隊の輸送、揚陸掩護、海陸協同作戦に任じたる外、揚子江、珠江、灌河、射陽河その他の主要内河竝に鄱陽湖及び洞庭湖を始め大小幾多の湖上を遡江せる海軍部隊は、水路を反復清掃、江岸に出没する殘敵を撃攘して廣大なる我が兵站線を確保すると共に、奥地水路の强行偵察、機雷堰の排除を行ふ等専ら作戦の進捗に奮闘を續けたのである。



又海軍航空部隊は艦艇、陸戦隊並に陸軍部隊の諸作戰に協力して輝かしく戦果を擧げると共に、いよいよ全支をその鵬翼下に收めるに至つた。いま海南島攻略後より北海作戰までに於ける海軍部隊の主要作戰を概記すれば次の通りである。

二

## 二、海軍艦艇及び陸戦隊の活躍

### イ、南支作戰

北支に端を發した事變は日を追うて中南支方面に轉廻し、さきに皇軍のバイアス灣上陸により茲に待望の南支作戰が展開せられたのである。かくて珠江部隊は、珠江本流並に其の連接水路一帶に亘り、沿岸の殘敵を制壓しつゝ、機雷に沈船に水路の清掃作業を續行して着々戦果を收め、

引續き殘敵の掃蕩に心血を注いだ。

三月九日珠江部隊に屬する陸戦隊はフレンチ島に上陸して敵の遊撃隊を掃蕩し、小銃十五挺、彈藥包數百發を鹵獲した。尙同夜珠江警備監視部隊は珠江灣内の敗殘軍用舟艇の掃蕩を行ひ、翌十日香洲灣内に於て敵軍用舟艇を拿捕すると共に多數の軍需品を鹵獲した。

また海南島陸戦部隊は十一日同島南部に於て九所市を経て崖縣の西方樂羅市に進撃、掃蕩を完了し、次いで十七日同島陸戦隊は長驅藤橋市南方に進出して同市を占領し、又二十六日他の一部は舖前灣湖山村に揚陸、大林市附近を掃蕩して多數の武器を鹵獲した。

二十七日珠江江上部隊の一部は陸軍の容奇攻略戰に協力し、陸軍部隊の水路嚮導及び上陸掩護に任じ、陸軍部隊上陸後は、之と密接なる連絡を保



ちつ、桂州の西南隣接部落たる小欖、馬寧方面に於て敵の退路を遮断した。翌二十八日他の一部は陸軍部隊に協力、順徳支流より九江に進出して水路掃海を実施し、二十九日には北街に進出、北街、猪頭山間を掃海して約百名の敵を撃退し、又江門入口閉塞線を啓開した。

三十一日珠江部隊は容奇方面の江門作戦を完了し、沙灣水道、江門間の水路を確保した。

四月七日以降珠江部隊は陸軍部隊の容奇江岸掃蕩戦に協力、航空部隊援護の下に大角島水道入口の掃海竝に兩岸の掃蕩を行ひ、十日を以て大角頭水道の一部の清掃を完了した。

十五日珠江部隊は潭州附近を掃海して機雷四個を處分し、他の一部は廣東、佛山間の匪賊を掃蕩して多數の武器彈薬を鹵獲した。

翌十六日博鰲港作戦部隊艦艇の一部は陸戦隊を護衛して博鰲港沖に入、陸戦隊は博鰲港を無血占領し、續いて樂會に進み、又他の陸戦部隊及び陸軍部隊の一部は艦艇援護の下に洋浦港に上陸これを占領した。

十七日海陸軍部隊は海南島北西部の要衝儋縣々城を占領し、又陸戦隊は同島南部藤橋の敵本部を急襲して約四百の敵と交戦、その二十六名を斃して之を潰滅し、翌十八日陸軍部隊と協力、新英市に突入これを占領した。

二十一日陸戦隊は海南島陵水市を占領した。

珠江部隊は二十二日を以て去る七日以來實施中の大角頭島水道及び潭州機雷堰の掃海を完了し、機雷四十七個を處分した。廣東攻略以來處分した機雷は合計五百十九個に達した。

五月六日海南島陸戦部隊は空陸呼應して陵水を衝き、更に同島南西岸の



要衝たる黃流市を占領し、十六日海南島新英派遣陸戦部隊は、海頭港新英の南西二十哩の地點に上陸して之を占領した。

八日、九日の兩日珠江部隊は陸軍部隊協力の下に西江潮連島附近の水路を啓開し、機雷三十七個を處分し、又陸戦隊は九日外海及び西江下流兩岸地區に於て敵遊撃隊を撃攘し、小銃八挺、彈藥包二千四百個を押收した。

十六日海軍艦艇の一部は航空機と協力して鼓浪嶼南方對岸に野砲陣地構築中の敵を砲爆撃して之を潰滅せしめ、他の一部は泉州附近の陸上の敵を攻撃大打撃を與へた。

翌十七日艦艇の一部は航空部隊と呼應して電白港を攻撃し、敵の兵營及び軍事施設を猛撃した。

珠江部隊は十八日南明島に陸戦隊を揚陸せしめ敵を掃蕩し、翌十九日も

同島の掃蕩を續行し多數の武器彈藥を鹵獲した。

二十日廈門部隊は大嶼を占領し、敵のトーチカ及び兵舎を爆破し、又三竈島掃蕩部隊は約一ヶ月に亘る同島の掃蕩を終了し、砲八門、小銃三十挺、拳銃五挺その他を鹵獲した。

珠江作戦部隊の一部は二十二日以來殘敵掃蕩を開始して所在の軍用舟艇群を攻撃し、その一部を捕獲した。

二十七日わが海軍部隊は温州及び福州閉塞戦を開始し、陸戦隊は温州虎頭島に揚陸して同島を占領し、他の一部は玉環坎門港附近に上陸、同地を占領閉塞した。又他の陸戦隊は福州川石島に揚陸し、艦艇及び飛行機協力の下に同島を占領し、多數の武器彈藥を鹵獲した。

六月八日珠江作戦部隊は、西江潮連島東側及び其の下流約八哩の水路を



啓開し又陸戦隊は之に協力して兩岸の敵を撃攘した。十六日艦艇の一部は飛行機協力の下に鼓浪嶼南方對岸の敵を砲爆撃して之を潰滅せしめ、又他の一部は泉州附近陸上の敵を攻撃した。

二十一日海陸軍の精銳部隊は汕頭に敵前上陸を敢行、これを占領し輝かしい戦果を収めた。(汕頭攻略参照)

七月九日、福州閉塞部隊は福州の閉塞を完了した。又珠江部隊は同日飛行機協力の下に第二次西江水路啓開作戦を開始し、陸戦隊は江岸兩側及び疊石附近に於て五百餘の敵を撃退し、小銃二十五挺、舊式砲五挺、拳銃その他多數の彈藥を鹵獲し、敵の遺棄死體は九十二を算した。

翌十日珠江部隊は西江本疊石、磨刀間を掃海中機雷堰を發見し、二十四個の機雷を處分したる外、約百三十噸の軍用汽艇一隻を捕獲した。

十一日温州閉塞部隊は温州の閉塞を完了した。又珠江部隊は同日螺州門及び鯉魚頭機雷堰の掃海を行ひ多數の機雷を處分し十三日には同掃海を續行した。

十四日海南島陸戦隊は感恩城を占領した。

翌十五日北方閉塞部隊は泉州閉塞を完了し、南方閉塞部隊は銅山及び詔安の閉塞を完了した。

十六日海南島部隊は北黎攻略を開始し、十八日北黎一帯を占領、海上部隊と連絡を遂げた。

二十日汕尾閉塞部隊は汕尾閉塞を開始し、陸戦隊は艦艇及び航空部隊の掩護の下に汕尾對岸に揚陸して附近一帯を占領、閉塞を実施した。翌二十一日閉塞部隊は陸戦隊を興化灣紅日島に揚陸せしめて同島を占領し、艦艇



は興化、南日兩水道を閉塞し、又二十二日飛行機掩護の下に三都澳の閉塞を完了した。

二十三日閉塞部隊は飛行機と協力して羅源及び沙埕の閉塞を完了し、珠江部隊は横門水路の啓開作戦を開始し、翌二十四日横門溪入口に於て沈船に依る閉塞線を発見した。

又陸戦隊は蟻州に揚陸し、二十六日掃海隊は蟻州沈船閉塞を啓開し、他の艦艇は横門に進出して陸戦隊を岐山東麓に揚げ敵を撃退し、機雷を処分した外多數の武器彈薬を鹵獲し、敵は死體四十を遺棄して敗走した。翌二十七日珠江部隊の横門水路啓開隊は機雷五十七個を処分し、陸戦隊は艦艇及び飛行機協力の下に附近の敵を撃退した。

八月四日艦艇の一部は、本日を以て汕頭港口の掃海を終了し、同港占領

以來機雷四十六個を処分した。

六日海門閉塞部隊は航空部隊掩護の下に海門閉塞を開始し、陸戦隊は白沙山島を占領し、閉塞部隊は九日を以て海門北方、中央、南方三航路の閉塞を完了した。

十三日海南島陸戦隊は萬寧を占領した。

二十二日潭州作戦部隊は潭州入口及び中央部の清掃並に測量を完了し、翌二十三日銅山作戦部隊の艦艇及び陸戦隊は銅山作戦を開始し、九月四日を以て同作戦を完了した。

十月六日艦艇の一部は鰲江を閉塞した。

珠江部隊は航空部隊協力の下に陸軍部隊の中山作戦に協力敵據點を攻撃、同十四日南澳島攻略部隊の陸戦隊は龍門澳に上陸附近一帯を掃蕩し、



同島を確保した。

一一

十一月十七日海軍艦艇及び航空部隊は悪天候を冒して北海方面の陸軍作戦に協力して大戦果を挙げた。

**海南島掃蕩戦** 海南島攻略戦は二月十日皇軍の澄邁灣に奇襲上陸以來、海軍陸戦隊並に陸軍部隊の緊密なる協力のもとに、隨處に敵前上陸を敢行し破竹の勢を以て諸要地を次々と占領し、三月初頭までには全島をわが軍の制壓下に置き、引續き掃蕩戦を續行して多大の戦果を収めた。

三月二十七日陸戦部隊の一部は、舖前灣湖山村に揚陸して大林市附近一帯を掃蕩し小銃二挺、彈藥包三百八十個を鹵獲し、更に四月十三日芒沙の抗日團本部を攻撃して多數の武器彈藥を鹵獲し、敵は死體九を遺棄して潰走した。

四月十六日早朝陸戦隊は、航空隊並に水上部隊援護のもとに、海南島東岸の博鰲港に敵前上陸を決行し、敵の抵抗を排除して直ちに之を占領し、尙破竹の勢ひを以て進撃をつゞけ、正午過ぎには同地の要衝たる樂會に侵入し、嘉積より南下した陸軍部隊と相會し、樂會を中心に殘敵の掃蕩に多大の戦果を収めた。また同日海南島西岸に於て陸戦隊は水上艦艇及び陸軍部隊との緊密なる協力のもとに、午前十一時過ぎ洋浦港上陸に成功し忽ちにして同地を占領した。

翌十七日海陸軍部隊は、水陸兩方面より儋縣を攻撃、午前十時頃には海南島北西部の要衝儋縣々城を完全に占領し、翌十八日陸戦隊は陸軍部隊と協力新英市に突入して之を占領した。かくて儋縣・嘉積・樂會の陥落により海南島治安妨害の敵の重要據點は我が軍の制壓するところとなつたので



ある。

また十七日同島南部に於て陸戦隊は、藤橋の敵據點を急襲して約四百の敵と交戦これを撃滅し、二十一日には陵水市を占領した。

五月四日陸戦隊は、陵水の北西地域に於て敵の有力部隊と交戦、敵は死體三十名、捕虜十五名を残して潰走した。六日、空陸呼應して陵水をつき、更に南西岸の要衝たる黄流市を無血占領し、十日には陵水附近に據る敵を急襲し、敵の遺棄死體百八十八を算した。十三日陸戦隊は、佛羅市に進撃して之を占領し、翌十四日新英方面にて白馬井南方の敵部隊を急襲して大打撃を與へ、十六日新英派遣陸戦部隊は海頭港に上陸これを占領した。二十日、二十一日の兩日に亘り王玻附近部落を掃蕩し、小銃製作所二ヶ所を發見して之を破壊し敵を潰走せしめた。

二十二日陸戦隊は航空部隊と協力し、陵水北東附近に蠢動する敵を襲撃し敵は死體三十九を遺して潰走した。二十四日檄家及び潭祭村の掃蕩を實施し、敵の兵舎と覺しきもの六十二棟を焼却し多量の彈藥類を爆發させた。

六月三日陸戦隊は陵水附近の殘敵を掃蕩し、六日鋪前來襲の敵と交戦、敵は死體四十一を遺棄して潰走した。

十二日陸戦隊は新英方面の殘敵を掃蕩し、他の一部は藤橋の北方部落の敵據點を掃蕩、交戦五回にして敵を潰走せしめた。兩方面に於ける鹵獲品は小銃五挺、槍二十にして、敵の遺棄死體は約二百を算した。次いで十五日陸戦隊は夜に乘じ陵水の北東に潜伏中の敵を包圍攻撃し、敵は死體百四十六を遺棄して潰走し、翌十六日潭門（博鰲の北八哩）に上陸して敵を撃攘した。



二十八日陸戦隊は保停營を占領して附近を掃蕩し、又他の一部は潭門の敵據點を襲撃して之を焼き拂ひ、三十日黃流東方に於て來襲せる敵遊撃隊約三十名を撃退した。

七月一日陸戦隊は黃流東方に於て敵襲を撃攘し八名を捕虜とし、敵は死體三十一を遺棄して敗走した。更に三日陵水北方の敵遊撃隊本部を掃蕩した。敵の遺棄死體六十四。

七日、陸戦隊は敵の據點後田村を掃蕩し、十日は陵水附近の殘敵を撃攘し敵は死體七十四を遺棄して敗走した。

十三日陸戦隊は感恩攻略を開始し、翌十四日感恩城を占領した。

十六日海南島部隊は北黎港攻略を開始し、陸戦隊は三亞より感恩に向つて進撃し、十八日午前北黎一帶を占領、午後海上部隊と連絡を遂げ、本攻

略を以て海南島に於ける主要港灣の大部分の占領を完了した。

二十五日陸戦隊は登頭村を奇襲して戦果を収めた。

八月一日陸戦隊は興隆市の攻略を開始し、十三日は萬寧を占領し、翌十四日他の一部は後安、和樂兩市を占領し多數の銃器を鹵獲した。

#### ロ、中支作戦

支那の大動脈たる揚子江方面の作戦は、昨年以來江上部隊を以て殘存機雷の清掃に専念しつゝ、敵の遊撃隊竝に對岸殘敵の掃蕩に活躍を續けて來た。

かくて江上部隊は身も凍る水上の寒風を冒し間斷なき敵遊撃隊の來襲に備へつゝ、延長實に七百五十浬に亘る全占領水域に對し、日夜水路の啓開に努力を續け、又漢口上流はもとより、同下流の揚子江本流に於ても隨處



に各種機雷を發見して其の都度これを處分し、遂に水路啓開作業を完成した。

陸軍部隊の南昌攻略作戰に呼應し、三月中旬鄱陽湖修水（三月二十六日徐家埠迄）、吳水（贛江）の遡江作戰を実施した江上部隊の海軍艦艇は、悪天候を克服しつゝ、頑敵を撃破し、四月三日南昌に至る水路を啓開し、更に砲艇隊の一部は生米街附近まで進出した。（南昌攻略戦と鄱陽湖畔に於ける海軍部隊の奮闘参照）

これより先き、中支江上部隊は三月十五日洞庭湖上に於ける敵軍用舟艇群の掃蕩作戰に従事し、湖の北方部に於て銃火を冒し敵の軍用舟艇群を撃沈したほか、他の六隻を鹵獲した。又十九日浙江省方面交通遮断部隊は、午前十一時半頃より午後五時に亘り寧波郊外の鎮海砲臺を猛撃し、敵の宏

遠・長跳嘴・白鷄山砲臺に損害を與へ、宏遠方面に猛烈な火災を起させた。

その後江上艦艇は陸軍部隊の作戰によく協力し、機雷の處分に日夜苦闘を續けると共に、五月十七日鎮海を攻撃し宏遠砲臺よりの猛烈な反撃を制壓した。

又二十二日陸戦隊は岱山島を攻略し多數の武器彈藥を鹵獲した。次いで三十日、三十一日の兩日に亘り艦艇の一部は温州甌江江内に侵入し、沙頭山に於ける陣地構築中の敵部隊を砲撃して多大の損害を與へた。

六月二十三日舟山島作戰部隊の陸戦隊は艦艇及び航空部隊と協力して定海、沈家門に上陸、舟山島を攻略した。（舟山島攻略参照）

三十日江上艦艇の一部は、新洲（武穴下流九洑）に陸戦隊を揚げ、陸軍部隊と協力して殘敵を掃蕩し、他の艦艇及び陸戦隊は魯家滙附近陣地に據



る約五百の敵を撃退し、彈藥二千發を押収した。

七月二日舟山島陸戦隊の一部は、同島西部の白馬抗山に上陸、大沙鎮岐岙、江月灣方面を掃蕩し、同十七日を以て舟山叢島一帯の攻略並に掃蕩戦を完了したが、八月二日には舟山叢島聯合自治委員會の發會式が舉行された。

九月二十三日湘江作戦部隊は陸軍部隊の湖南作戦に協力、艦艇の一部は陸軍部隊を嚮導して營田に揚陸、他の一部艦艇は鹿角に進出した（洞庭湖上に於ける海軍部隊の奮戦参照）

十月二日高郵作戦部隊は陸軍部隊及び航空部隊協力の下に高郵縣城を占領し内火艇一隻、小銃三百八十一挺を鹵獲し敵は死體五百八十七を遺棄して潰走した。十四日江上部隊の艦艇及び陸戦隊は陸軍部隊と呼應して銅陵

洲内を隈なく掃蕩し多大の戦果を収めた。

#### ハ、北支作戦

昨年徐州戦に敗退した敵は海州を根據地として抗日策動を續けてゐたが、我が海陸軍部隊は本年二月下旬から三月初頭に亘り、敵の據點海州を目標に大包圍作戦を開始した。

二月二十六日陸軍部隊は海軍との緊密なる協力の下に山東省安東衛に敵前上陸を決行して南下し、翌三月一日には江蘇省北岸灌河口に敵前上陸を敢行し隨所に退却する敵を撃滅しつゝ、遡江作戦により海州方面に於ける敵の退路を遮斷して南方からの海州包圍圈を完成し、北西及び西方より進攻する陸軍部隊並びに連雲港方面の海軍進撃部隊と呼應し、三月四日には抗日都市海州を完全に占據した。



尙ほ蘇北作戰に策應した他の部隊は三月一日浙江省宿遷東方地區より敵を席捲東進し、これと呼應せる海陸協同部隊は、翌二日敵匪軍の本據淮陰を攻略し、南方に遁走せんとする敵を海軍航空部隊と協力して粉碎した。

三月十日威海衛陸戦部隊は、治安隊と共に文登方面に散在する約五百の敵を掃蕩して翌十一日には文登に入城し、夕刻威海衛に歸つた。また十四日連雲港附近の殘敵を制壓し、小銃十六、彈藥包五百を鹵獲したほか、地雷十二を發見處分した。十五日陸戦部隊は治安隊約二百を伴ひ芝罘附近を掃蕩し牟平方面に出動、殘敵百を潰滅させた。

海軍陸戦隊は昨年五月連雲港方面にて見事なる敵前上陸を敢行して港灣部を占領以來、本年三月皇軍の海州入城に至るまで十一ヶ月間、大兵力の集結せる蔣直系軍を相手に連日連夜の激戦を續けて來たが、今回北支、中

支方面の作戰に伴ひ、連雲港方面の警備は陸軍部隊に於て擔當することとなり、五月十三日午前零時を以て海陸軍警備の交代を完了した。

六月十三日聯合陸戦隊は陸軍部隊の作戰に呼應し、艦艇及び飛行機掩護の下に、石臼所南側の海岸に揚陸して石臼所を無血攻略し、多數の彈藥及び手榴彈等を鹵獲した。

十月八日芝罘陸戦部隊は牟平南東三十軒附近に兵器廠を有する敵の據點を潰滅した。本戦鬪に於て敵の遺棄死體は一〇一、鹵獲品は手榴彈一萬餘土砲七六、小銃三〇、同彈藥包五、〇〇〇、迫撃砲彈一五〇、地雷七〇の外、火藥、軍用自動車、重油等であつた。

その他各占領地區に於ける海軍陸戦部隊は北支治安維持や附近の殘敵掃蕩に着々成功を収め、又灌河方面艦艇は陸軍部隊の掃蕩戦に協力して多大



の戦果を収めた。

### 三、支那沿岸交通遮断の強化

#### イ、抗戦輸血路の閉塞

わが支那沿岸封鎖部隊は昨年度に引續き支那船舶（非合法的に第三國に轉籍せるものを含む）の航行遮断を實施して來たが、第三國の船舶で我が占領地以外の港灣に出入して重慶政府の抗戦資材の輸送を行ふものが多いので、敵の輸血路を杜絶するため、本年六月下旬から九月中旬に至る間に於て左記港灣の閉塞を決行するに至つたのである。

閉塞場所	開始	完了
溫州	六月二十七日	七月十二日

福州	六月二十七日	七月九日
泉州	七月十五日	七月十五日
銅山	七月十五日	七月十五日
詔安	七月十五日	七月十五日
汕尾	七月二十日	七月二十日
興化	七月二十一日	七月二十一日
三都澳	七月二十二日	七月二十二日
羅源	七月二十三日	七月二十三日
沙埕港	七月二十三日	七月二十三日
海門	八月六日	八月九日
湄州	九月六日	九月六日
溫州	九月十七日	九月十七日
島西側水道	九月十七日	九月十七日
甌江淺灘南東方	九月二十二日	九月二十二日



興化灣口	十月七日	十月七日
鰲江	十月六日	十月六日

海州占領 我が海陸軍部隊は相協力して海州包圍の猛進撃をつゞけ、各方面から次ぎ次ぎと敵の要衝を陥れ三月四日遂に海州を占領し、作戰開始以來一週間で早くも海州城頭高く日章旗を翻へした。

かくて海州の防禦に躍起となつてゐた敵の于學忠軍は、今や全く總崩れとなり、殲滅の運命へと追ひ込まれた。

いま海州を中心として、附近一帯に就いて概述すれば次の通りである。

海州は江蘇省の北端に在つて隴海線に沿ひ、又述河の南岸に位し、黃海に臨んでゐる船つき場からは十里許り上流にあつて、水陸交通の要衝となつてゐる。

つまり隴海線によつて西に進めば、徐州、開封等の都會を経て鄭州に達し、此處で支那大陸を南北に貫き、天津から南京の對岸である浦口に至るところの津浦線に連絡することが出来る。又海州は江蘇州の北部から山東省に通ずる要路にあつて、しかも河南、安徽の各省から海に出る唯一の要地である許りでなく、海路は上海と青島との中間に位する要衝で隴海線も最初は此處を起點としてゐた程である。

海州附近は所謂江北の平野で、この平野には多數の湖や沼が散在し、又大運河、鹽運河等の無數の運河が縦横に走つてゐる。

鹽運河は海州と淮陰とをつなぐ運河であつて、海州附近は有名な鹽の產地で海州鹽として知られ、年産約七十萬噸にも及んでゐる。

我が軍が三月一日奇襲上陸を行つた灌河は、海州の南方を概ね東西に走



つてゐる河であつて、その下流の流域一帯も亦鹽の産地として知られてゐる。

次に海州は人口約二萬人と言はれ、軍事、經濟、交通の重要な地點である。

海州から東に進むと、隴海線の終點に當つて連雲港があり、黃海に臨んでゐる。同港は恰も海州の咽喉を扼する地位を占め、昨年五月に我が軍の手に歸したことは周知の通りである。

**汕頭攻略** わが海陸軍の精銳部隊は、六月二十一日曉の靄を衝いて、極めて緊密なる協同の下に汕頭附近に敵前上陸を敢行し、破竹の勢ひを以て進撃を開始し、午後二時五十分汕頭を完全に占領したのである。

汕頭は南支の要港にして、その咽喉たる南澳島は、昨年同月わが海軍陸戦隊の手によつて占領されたことは周知の通りである。

爾來滿一ヶ年汕頭の市民は日夜戦々兢々として最後の日を豫期して居つたのであるが、終にその日が來たのである。

近藤海軍中將の率ゐる南支海軍部隊並に之と協同する陸軍部隊を搭載せる輸送船團は、同月某地を進發し、艦隊の緊密なる嚮導掩護の下に、二十日夜半やみを衝いて汕頭沖に進入、作戰部隊は直ちに上陸を開始し海軍部隊は早くも午前五時半敵の抵抗を排除して汕頭港を扼する諸島嶼を完全に占領した。

尙ほ海上部隊は午前八時三十分汕頭港内に進入を開始し、兩岸の敵を制壓しつゝ、多數の機雷、水中障害物を排除して一路邁進、午前十時五十分には早くも汕頭市街を距ること東方二料の地點に近迫、いよいよ猛進撃を續



行し、午前十一時二十分小癩にもわれに反撃せる埼礫砲臺竝に附近トーチカに據る敵を砲銃撃して之を潰走せしめ、午後二時頃迄には概ね港内の掃海を終り、輸送船團の汕頭港内進入を可能ならしめ、同三時頃には全水域の掃海を完了した。

この間海軍航空部隊は終始海陸軍部隊に協力、陸軍上陸部隊と協同して銃爆撃を以て敵を制壓したばかりでなく、陸戦隊正面の遠距離敵情偵察攻撃に従事し、退却中の敵兵に多大の損害を與へ、且つ蓬州附近江上に於て我が機を銃撃した敵の汽艇を爆沈させた。

これより先き、我が部隊が未だ港内に進入を開始しない前、わが海軍航空部隊の水上偵察機の一機は、曉靄を利用して汕頭港内に着水し、敵の銃砲火を冒して有效なる強行偵察の任務を果たして無事歸還、水上偵察機の

特殊なる性能を遺憾なく發揮した。

尙ほ爾後に於ける戦闘は、我が神速果敢なる陸軍部隊に依つて、敗敵を急追また急追、戦果を急速に擴大したのである。而して汕頭港内の主なる鹵獲品は次の如くである。

貨物自動車

一〇輛

汽艇

一隻(二〇〇噸級)

一三隻(五〇噸級以下)

### 汕頭攻略の意義

汕頭は周知の如く南支の要港であつて特に廣東攻略後の同地は抗戦支那唯一の海港と化した觀があり、援蔣第三國船舶の出入が最も活潑であつて、こゝから種々の經路により重慶に物資が送られ、又盛んに抗日支那の輸出が行はれてゐたのである。即ち汕頭は蔣政權にとつて



はかけ替の無い金庫でもあり、兵糧倉でもあつたのである。

抑も汕頭は廣東省の東部、福建省との省境に近い所に在つて、東の廈門へは約一三二哩、西の香港へは一七六哩といふ距離にあつて、殆んど廈門と香港との中間に位してゐる。

由來汕頭は天津・青島・上海・漢口・廣東と共に支那の六大商港といはれてゐた處であるが、その位置は韓江の河口に在つて、この韓江の水運によつて、福建省や江西省との間に往來が行はれてゐる。又廣東省の潮州と汕頭を結ぶ潮汕鐵道は、延長約十里である。

汕頭の市街は城内とその東に連る埼碌及び對岸にある角石島の北岸の一帯から成つて居り、人口は約二十萬と言はれてゐる。事變前は我が同胞も七百人餘りゐて活躍してゐたが、事變勃發後引揚げたのである。

汕頭は前述の如く天津・青島・上海・廣東・漢口等の諸港が、次々に皇軍によつて攻略された結果、蔣政權に残された唯だ一つの港として重要な意義を持つてゐた。しかもこの汕頭による外國貿易は、尨大な輸出超過を示して居り、その輸出品の大部分は、現代重工業に缺くべからざるところのタングステンと桐油で非常に注目されてゐた。また汕頭附近は鹽の産地として知られて居り、汕頭を経て奥地に向つて鹽が送られてゐたが、この港を失ふことは、この鹽が抑へられることになるのである。

更に汕頭地方は廈門、泉州、廣東、海南島などと共に、南洋華僑くわいけうの主要の出身地で、その數二百四十萬を算し本國への送金は、殆んど例年約五千萬元を下らず、汕頭と潮州への送金は合計年一億元以上に達し、華僑全體の送金二億乃至三億元に對し、半分以上と言はれてゐる。敵がこの汕頭を



抑へられたことは、蔣政權援助の資金ルートが遮断されることを意味するものである。

汕頭の附近には惠陽、澄海、潮陽、菴埠などの都會があるが、最も大きな都會は汕頭から韓江を遡つたところにある潮州である。潮州は別に潮安とも言はれ、春秋時代の晋しんの頃から知られた古い都で、人口は約十五萬人と稱されてゐる。唐の文豪韓退之かんだいしがこの潮州に左遷され、配所の月を眺めたことは世に知られてゐる通りである。

**舟山島攻略** わが艦艇及び聯合陸戦隊は六月二十三日黎明、舟山島の定海、沈家門に現はれ同島攻略戦を開始した。

陸戦隊は艦艇及び飛行機隊支援のもとに蔣家灣及び青疊に揚陸、敵の抵抗を排除しつつ先づ定海を包圍し、夕刻までに大道及び定海市内の掃蕩を

完了した。また沈家門に於ても早朝上陸に成功し、市内及び附近高地の敵兵を掃蕩した。本作戦中わが艦艇は陸戦部隊と協力海上を遮断して敵の退路を封じ、又航空部隊は熾烈なる敵の防禦砲火を冒して衡陽附近の軍事施設を攻撃し多大の損害を與へた。

舟山島作戦部隊は同夜半、定海及び沈家門に逆襲して來た敵を撃攘、引續き翌二十四日同市内外竝に島内一般の掃蕩を實施したが、二十三日より二十五日までの戦果は次の如くである。

	(二十三日)	(二十四日)	(二十五日)
敵遺棄死體	六六	九五(計)	
俘虜	二		
鹵獲兵器			



敵國旗	軍服、水筒等	手榴彈	小銃彈	拳銃	小銃
十數旗	若干	七五	約一三、〇〇〇	二	七三
			多數	一二五	一一
				二六	二

三六

舟山叢島の掃蕩 舟山島部隊は七月十七日を以て舟山叢島一帯の攻略竝に掃蕩戦を終了した。艦艇及び陸戦隊を以てせる本作戦は、開始以來二十有餘日に亘り、潮流激しき狹水道に於て各隊緊密なる連繫の下に、炎熱豪雨に屈せず掃蕩戦を實施すること前後四十回、苟も敵潛入の疑ひある部落や島嶼は悉く之を掃蕩、皇軍の武威を發揮して敵兵の再起を不能ならしむ

ると共に、封鎖戦の據點を確保して其の強化に寄與すること甚大であつた。掃蕩せる主要の島嶼竝に戦果は次の如くである。

島嶼

- 舟山島、長白山、馬目山、册子山、金塘山、馬秦山、螺頭島、盤嶼岩、島大嶼、小干山、陸家島、六横山、條頭、蛇岐山、桃花山、東沙山、登步山、金河島、朱家光、晋陀山島、拘杷山、礁山、大衢山等

敵の戦死者 五〇

鹵獲品 小銃 三四九、拳銃 三八、其の他彈藥軍服等多數

口、南支沿岸の封鎖強化

帝國海軍は昭和十二年八月二十五日、長谷川第三艦隊司令長官の名を以



て第一次交通遮断の宣言を發表してから、數次にわたり遮断區域の擴張を宣言實施したが、今や滿洲國との境界である山海關から、南は海南島をめぐり佛領印度支那との境に至るまで、實に二千八百五十餘哩の全支沿岸の封鎖に任じつゝ、或は黃海の濁水に浮び、或は季節風の吹き狂ふ南支の波濤のうち酷暑と闘ひつゝ、海上の哨戒に支那船舶の臨檢拿捕に、蔣政權の物資補給の道を断たんとする努力は、事變目的遂行のため見えざる大きな効果を齎してゐるのである。

全支沿岸にわたるこの廣大な區域を監視警戒することは容易ならざる事業である。その行動は有力な敵艦隊と交戦するやうな華々しいものではなく、日夜大自然の暴威と闘ひつゝ、わが方の目をかすめて敵に軍需品や物資を供給してゐる支那船舶並びに第三國船に偽装された船舶を嚴重に監視

するもので、その作業が極めて地味な役割であるから、辛勞のみ多くて而かも世人はともすればその偉大なる功績を忘れ勝ちなのであるが、我が海軍の將兵は世の關心をよそに黙々として任務遂行に苦闘をつゞけ、椽の下の力持ちに等しい涙ぐましい勞苦と努力とが積まれて來たのである。

扱て海上に於ける交通遮断上、先づ着眼されるのは海港であるが、事變勃發以來、わが海陸軍の作戦の進展につれて主要海港は殆んど我が手に歸した。即ち北より南に列記すれば、塘沽、芝罘、威海衛、青島、連雲港、海州、上海、厦門、廣東、海口及び榆林（海南島）北海等の重要海港であつて、これ等は最早援蔣ルートとしての機能を完全に失つたのであるが、尙ほ南支に残されたいくつかの海港のみは、貿易の舞臺として第三國船が跳梁し種々の形で援蔣物資が奥地へと流れ込んでゐたのである。そこで我



が海軍は、南支に残された援蔣ルート<sup>1</sup>の海港に着眼して新作戦を計畫し、去る六月二十一日汕頭攻略に端を發し、我が封鎖部隊は、更に艦艇及び航空部隊の援護の下に、二十三日早朝には舟山島の南部に敵前上陸を敢行、同日夕刻には要衝たる定海を完全に占領し、尙ほ一部隊は岱山島をも占領するに至つた。

舟山島は金塘、岱山等をはじめ大小幾多の島嶼と共に舟山列島を形成し揚子江及び杭州灣を抑へる地位に在りて、遙か大陸の鎮海や浙江省第一の貿易港たる寧波に望んでゐる。

蔣政權は錢塘江南岸の紹興及び寧波を中心に、この地方一帯に直系の大軍を集結して防備に當らしめ、また舟山列島や寧波、紹興を利用して外援の資材吸収につとめ、軍事的活動に役立て、絶えず錢塘江を越えて杭州の

治安を擾亂しやうとしてゐたのであつて、實に同島の占領は汕頭攻略と相俟ち、更に戦果と戦略的效果を大ならしめたものである。續いて二十七日には福州、温州兩港の封鎖を敢行し多大の戦果を收めた。

**閉塞作戰** 七月十二日、新海港場の泉州、銅山及び詔安(福建省)閉塞作戰を施行することとなり、第三國艦船の避退方を及川支那方面艦隊司令官の名を以て三浦總領事を通じ各國外交關係、海關側に對し通告を發し、十五日午前八時(日本時間)より軍事行動を開始するに至つた。

我が海軍は更に一段と封鎖を強化するため香港、汕頭間の間中にあつて兩港の中繼港として沿岸貿易の中心地をなす汕尾港(廣東省)を十八日午前八時を期し封鎖することとなり、十五日同じく關係各國に通告を發し、尙ほ福州斷絶を強化するため、興化(福建省)を十九日午前八時を期し同



様封鎖することとなり、十六日關係各國に對し聲明を發した。

更に十八日三都澳、羅源、沙埕（福建省）の閉塞を聲明して此の旨を關係第三國に通告し、三都澳、羅源に對しては二十一日午前八時より、沙埕に對しては二十二日午後二時より軍事行動を開始するに至つたのである。尙ほ二十六日廣東、香港領事宛て我が軍は來る二十八日より二週間すべての外國船舶に對し、珠江を封鎖する旨通告を發した。

かくて全支沿岸の重要海港は勿論、河川に至るまで悉く我が軍の制壓に歸し、交通遮斷の作戰は茲に沿岸の港口封鎖の敢行へと積極的に飛躍したのである。今日まで隱忍を重ねて來た我が海軍が、かゝる強硬なる歴史的作戰を採るに至つた裏には、第三國との通商上の摩擦を充分に覺悟して立上つた舉國一致の堅い決意が用意されてあり、そのため第三國の援助に絶

る支那側の抗戦力には致命的の打撃を與へるもので、そこに今次作戰の意義と重要性があるのである。

抑も交通遮斷とは「相手國公私船舶の交通を遮斷」することであつて、その意義目的は沿岸封鎖と同一であるが、聖戦の目的が東洋永遠の平和の爲めに蔣政權並びに抗日軍を潰滅して新東亞の再建を期するものであつて、敢て支那良民を敵とするものではなく、宣戦布告も行はれてゐない故に、交通遮斷と稱してゐるのである。即ち戦争に非ずして事變なる理由のもとに、「封鎖」と言ふ語は正式に使用せず、「支那船舶交通遮斷」或は「平時封鎖」と稱してゐるわけである。

次に我が海軍が南支沿岸封鎖の強化に出でた理由を述べよう。

凡そ今日の國家は、平時に於ても外國から國を鎖して獨立、生存、發展



を遂げることは出来ないのである。そして海は世界の交通路であり、海港は世界への門戸であり、この門戸を閉塞されることは國家にとつて一大打撃であることは言ふまでもない。況んや工業國でない抗日支那がたとひ開戦前に相當の兵器、彈藥、軍需品のストックを有つてゐたにせよ、抗日戦をつゞけ、又長期抗戦の主張を企圖するからには、どうしても第三國からの軍需品その他の輸入を絶對必要とする事は當然であつて、それには蘭州方面よりするソ聯のいはゆる西北ルートもあれば、ビルマ雲南ルートもあり、その他陸路または空路によることも可能であるが、支那は地形上何といても海路に依るのが輸送能力や、その他の點に於て簡便且つ捷徑であることは明かである。

然るに事變勃發以來、第三國船舶の支那沿岸各地に出入港した隻數は我が封鎖部隊の調査統計によつて明瞭であるが、香港及び廣東は勿論、その他主要海港たる温州、福州、厦門、汕頭、海口等に於ても英國が斷然他の第三國を壓し、事變以來一貫して第一位を占めてゐる現象は注目すべき點である。わけても香港は、現在もさうであるが、抗日支那の動力補給路の中樞であつたのである。

皇軍が廣東を攻略した以後に於ても、廣九線と粵漢線の使用は不可能とはなつたが、香港は依然として援蔣ルートの元締をつとめてゐるのであつて、こゝに集積した物資を積み替へて更に佛印の海防や汕頭その他に向けて發送したり、或は多數の小汽船、ジャンク等に積込んで沿岸各地に於て密輸をしてゐる状況であつた。

尙ほ汕頭は青島、上海、廣東の大商港の陥落後は、蔣政權の對外重要輸



血路たる海港として俄然その重要性が倍加せられて居つたのであつて、最近援蔣第三國船舶の輻輳が著しく目立つやうになり、わけでも英國怡和洋行の船舶出入が最も活潑になつてゐたのである。そして汕頭の對外貿易額は廣東攻略後三ヶ月間に於てすら、蔣政權下に在る全海港輸出入額の三八%を示し、斷然他港を壓して第一位を占めてゐたが、尙ほこの三八%は南昌陷落以前の數字であつて、皇軍の南昌攻略に依つて浙贛線が遮斷された後は、汕頭の價值が俄然向上して援蔣の重要輸血路となつたのである。

更に注目すべきことは汕頭の龐大な輸出超過であり、鹽の産地であり、將た又南洋華僑の主要なる出身地であつて、彼等に依る多額の送金は、蔣政權の抗戦力維持に缺くべからざる財源であつたが、さきには彼等の故郷である廈門、廣東、海南島等を次々に奪はれ、今また汕頭附近一帯をも失

ふに及んでは、彼等華僑の蔣政權への信頼も失はれてゆくことであらう。

今や國民政府は、大切な財源であつた關稅と鹽稅を失つて収入の途が無くなり、加ふるに在外正貨は涸渴してその財政は極度の窮乏に喘いでゐるが、それにつけても善良なる支那民衆にとつて甚だ迷惑なことは、英國を首班とする第三國の援蔣行爲であるといへるのであつて、我が支那沿岸封鎖もまた英國などの援蔣行爲に伴ひ漸次強化されつゝある實情である。思へば第三國の援蔣行爲こそは、東洋の平和、東亞新秩序建設の大敵であつて、我軍は斷乎として彼等の反省を求めて止まないものである。而して我等は一面戰鬪、他面建設といふ支那事變の段階を克服するの準備と決意とを怠つてはならない。



## 四、南昌攻略戦と鄱陽湖畔に於ける海軍部隊の奮闘

陸軍部隊の南昌攻略作戦に呼應して三月十八日朝霧を衝いて鄱陽湖を南下した江上部隊の艦船は、同湖西方地区の新作戦につくべく、西岸傳ひに砲臺角の突端を迂回し、掃海艇の誘導下に頑強なる敵の抵抗を排撃しつ、機雷原を突破して水路啓開を敢行、同角より吳城に至る修水下流を進攻して午後には葉家集岸に達した。この時吳城前面の修水の流れに沿うて投錨した海軍艦艇が吳城に向つて一齊に砲火を浴せ、見る間に吳城東部の一角は黒煙に蔽はれた。これに策應して江上艦艇の掩護下に某地點に敵前上陸を敢行した海軍陸戦隊は、吳城東北の令公洲を占領し、他方よりする陸軍精銳部隊と呼應して、贛江を距て、指呼の間にある吳城を俯瞰しながら、

同江東岸の堤防に據つて必死の抵抗を續けてゐる數千の敵に對して數日間に亘り猛攻撃を浴せ、敵も亦反撃を繰返へし未曾有の激戦を展開した。

爾來陸戦隊は幾多の困難を冒して所在の敵を撃攘し、他方より迫る陸軍部隊と相俟つて、二十三日午後吳城に突入し引續き市内を掃蕩、翌二十四日午前吳城にて陸軍部隊との連絡成りこゝに完全に吳城を占領するに至つた。この攻撃戦に於ける敵の遺棄死體は八十にして、我軍は機雷十箇、小銃數十挺その他多數の彈藥を鹵獲した。

更に江上艦艇は重要水路の啓開作業を續行し、一部は陸軍作戦に呼應して修水を遡江二十六日徐家埠に進出した。二十七日贛江遡江部隊は三洲頭附近まで啓開し、一方陸戦隊は江上遡江部隊と併行右岸の敵を驅逐しつ、安塘湖の南方に進撃した。二十八日陸戦隊は北崗山の敵陣地に突入して之



を占領し敵を南方に壓迫し、昌邑郷一帶を完全に占領した。次いで三十日江上艦艇は鄱陽湖岸の殘敵を撃攘しつ、機雷の清掃、航路啓開作業に戦果を収めた。

かくて三月中旬以來、吳城、南昌間に於ける贛江閉塞線の啓開作業に従事中の江上部隊は、爾來江岸の頑敵を撃攘して幾多の困難を排しつ、複雑多岐に亘る數ヶ所の閉塞線突破に全力を盡してゐたが、四月三日午後二時三十分同部隊は其の大部の艦艇をつらね遂に南昌に進入した。

### 五、洞庭湖上に於ける海軍部隊の奮戦

昨年十月二十五日、わが海軍部隊の揚子江遡江部隊の漢口突入に成功するや、同部隊は息つく暇もなく水路敗敵を急追して十一月十一日岳州前面

に進出、洞庭湖口の要衝を抑へた。爾來約九ヶ月わが海軍部隊は戦機の熟するを待つてゐたが、「兩湖實れば天下飢ゑず」の稱ある洞庭湖畔の山野にも漸く秋立ち、戦機今や熟したるを以て、わが陸軍部隊の湖南殲滅作戰に呼應して洞庭湖、湘江の遡江戦を決行することゝなつた。

そもそも洞庭湖、湘江一帶は水路錯綜、且つ屈曲常なく、平時に於てすら行船に悩む水域である。即ち洞庭湖は名は湖水であるが、減水期ともなれば一望洞庭の綠野となり、蘆荻の間を縦横にクリーク状の水路が通ずるに過ぎない。しかも一たび増水期となれば渺々たる大湖と化し、加ふるに淺洲は到る處に横はり、一連の航路標識でも辿るのでなければ行船を許さないのみか、その可航水路の幅も百米に足りない處があつて一度操舵を誤れば坐洲の運命を免れない。



また湘江は、湖南省境に源を發し、北流して衡陽、株州、長沙、湘蔭の諸市附近を通り、磊石山、鹿角附近にて洞庭湖に注ぐ河流であつて、その上流に於て特殊運河施設により珠江支流北江にも連り、南支兩廣より揚子江方面への水上交通路の一部をなしてゐる。しかし同江下流は屈曲常なく、かつ河幅狭き關係もあり、流速は左程大きくはないが、到る處に渦流があつて行船を悩ますことは想像以上である。

洞庭湖水路の錯綜と相俟つて、平時警備任務の遂行に際して長沙遡江は、我が老練なる砲艦々長にとつても頭痛の種であつたのであるから、戦時に於ては尙更のことである。

しかして重慶政府軍は昨年十一月急速なる皇軍の岳州進出に脅え、いはゆる清野堅壁の策に出で、長沙の城市を一炬にして灰燼とし、水鳥に驚き

走れる平家の轍を履んで世の物笑ひとなつたものゝ、皇軍が敢て岳州より遡江進出の氣配を見せなかつたのに氣をとりなほし、長沙並びに宜昌放棄の策を棄て、本年春より揚子江本流並びに洞庭湖、湘江一帯に數千箇の機雷を敷設し、水路を閉塞し、兩岸には堅壘を築き、水路標識をも撤去してわが遡江部隊の進撃に備へた。

特に洞庭湖、湘江一帯には二千箇以上の機雷を以て、鹿角より上流に二重三重に機雷堰閉塞線を設け、同地よりは一步もわが部隊の遡江を許さずと豪語してゐたとの事である。

このやうな天嶮に加ふるに人工を以てせる敵の江上防備を突破して遡江戦を実施することは、蓋し至難中の至難に屬するものであるが、一昨年以來岳州まで既に蜿蜒七百四十哩に及ぶ揚子江遡江戦に成功し、幾多の機雷



堰を突破、閉塞線を啓開して來た我が海軍遡江部隊の精銳にとつては何等の障害ともならず、作戰開始以來近々一週間にして約六線の機雷堰閉塞線を突破啓開し、湖江岸のトーチカ陣地を奪取してよく岳州上流四十哩の營田に至る洞庭湖並びに湘江水路啓開の偉功を樹てた。

かくて我が陸軍部隊の湖南殲滅作戰に呼應すべく海軍の湘江遡江作戰部隊は、九月二十一日岳州下流域陵磯附近に集合、陸軍部隊と密接なる連絡をとつた上、遡江並びに水路嚮導の二隊に別れて翌二十二日いよいよ進發した。水路嚮導隊は上村陸軍部隊の分乗せる舟艇群を導いて敵の意表に出で、敵が小ジャンクしか通はぬと油斷してゐた洞庭湖の長水路を夜間に突破し、荷葉湖青山方面より二十三日午前六時營田に至り、陸軍部隊をして同地に對する奇襲敵前上陸に成功せしめたのである。

しかしてこの上村陸軍部隊の迅速なる汨水沿岸、新市方面進出により陸軍の南下部隊に追はれ、墻河方面より敗走する敵中央軍を側撃して大打撃を與へたのは、營田上陸後に於ける陸軍部隊の果敢なる進撃によるは勿論であるが、事前に於ける周密なる計畫と研究とにより夜間長水路を突破して敵前奇襲上陸を敢行した海軍遡江部隊の奮闘に負ふところも亦極めて大なりと言はねばならぬ。

一方遡江部隊は九月二十三日午前九時半、九馬嘴前面に進出、その掩護射撃と海軍航空部隊の適切なる協同掩護とを受けつゝ、陸戦隊は九馬嘴に揚陸、鹿角附近のトーチカ陣地の攻撃を開始した。しかるに上陸點附近の湖岸は三乃至四米の斷崖で、しかも鹿角前面にはクリークがあつて我が進出は容易でなかつたが、陸戦隊は航空部隊の勇敢なる爆撃と舟艇群の水上機



動による側撃とにより敵のトーチカ陣地を奪ひ、同日夕刻までに鹿角北方高地まで進み、更に二十四日午前九時半、鹿角を完全に占領した。

鹿角占領に引續き、海軍遼江部隊の水路啓開隊は二十四日午後二時三十分、二線に亘る鹿角前面の機雷堰を掃海排除し、早くも同日夕刻までには、遼江水路の要衝磊石山下流に進出した。かくて遼江部隊は翌二十五日午前九時磊石山に陸戦隊を揚陸、一舉に之を屠つたのち、浮出及び坐洲機雷のみでも四百箇以上の磊石山前面一帯の機雷堰を清掃し、更に沈沙港百花州の機雷堰並びに白魚磯の防材を突破して水路を啓開し、九月二十九日午後四時十五分には營田前面に遼江、さきに進出した水路啓開隊と完全に連絡し、茲に岳州より營田に至る四十哩の洞庭湖、湘江水路の啓開を完了したのである。

本遼江戦に際し、遼江部隊の處分した機雷は五百箇（坐洲機雷で未處分のもの相當あり）以上の多きに達し、そのほか軍用舟艇約三十五隻を爆破し、別にトーチカ三十一と地雷五個を爆破した。勿論これ等敵に與へた損害は處分機雷を除き大なりとは云ひ難いが、敵がわが海軍部隊の遼江は不可能と豪語してゐた水路を啓開して四十哩を遼江したことは、我が遼江部隊は必要に際しては如何なる障碍をも排除突破し、長沙でも四川でも、苟くも流水の通ずるところは必ず遼江し得るの意氣と能力とを有することを如實に敵に知らしめたわけで、本作戦の敵に與へた精神的打撃は、蓋しはかり知るべからざるものがあつたと信ずるのである。

## 六、中山作戦



珠江中山作戰部隊の陸戦隊は十月七日疊石南方に上陸、敵を撃破しつゝ、江岸を掃蕩し航空部隊協力の下に頑敵を撃攘し、水路啓開隊は中山下流五湮附近に於て三ヶ所の水中障害物を排除して水路を清掃、補給路を開通した。

又他の艦艇は江岸の敵を攻撃して敵の退路を遮断し、陸軍部隊は中山城に突入これを占領した。

翌八日水路啓開隊は艦艇及び陸戦隊協力の下に中山までの未掃海面を清掃し、陸軍舟艇を嚮導して中山縣に進入し又陸戦隊は張家邊附近に來襲せる敵を撃退附近を掃蕩した。九日中山作戰部隊は疊石より西江を遡り敗走せる敵の軍用舟艇群を攻撃し、翌十日陸軍部隊の移動援護に任じ中山附近の敵據點を砲撃し、陸戦隊は前日に引續き張家邊附近一帯を掃蕩して多大

の戦果を収めた。

## 七、北海作戰

わが海陸軍の精銳部隊は、十一月十五日早朝雨を伴ふ風速二十米の荒天を冒しつゝ、極めて緊密なる協同の下に、南支東京灣の一角欽州灣口附近に奇襲敵前上陸を敢行した。事變以來累次の敵前上陸に相つぐ今次の北海方面奇襲上陸は、荒天を冒し疾風怒濤を衡いて行はれた點に於て亦輝かしい成功であるが、蜿蜒長蛇の陣を張り威風堂々たる艦艇援護の下に曉闇を縫ふて灣内深く進入した大船團の勇姿は實に南支那海を壓する壯觀であつた。

海軍艦艇及び航空部隊は南寧作戰陸軍部隊に協力し、その舟艇は連吹す



る強風怒濤を冒して陸軍舟艇を嚮導、敵の抵抗を排除しつゝ、困難なる水路を灣内深く進入して龍門江を遡江し夕刻龍門島附近の敵前上陸に成功せしめ、又海軍航空部隊は連日の悪天候を衝いて陸軍部隊の猛進撃に伴ひ、その前方敵據點の爆撃に敵情の偵察に、水路の嚮導に、鬼神の如き活躍を續けた。かくて神速果敢なる陸軍部隊は相踵いで欽縣、防城等の要衝を陥れ、更に三方面より猛進をつゞけ、欽州灣上陸以來僅か十日にして、二十四日には早くも桂南の要衝たる南寧を攻略し、重慶政府に残された海上よりの唯一の抗戰輸血路は茲に全く遮斷せられたのである。

南寧攻略に對し翌二十五日軍令部總長宮殿下より及川支那方面艦隊司令長官及び高須南支海軍部隊最高指揮官に左記祝電を發せられた。

「天候地勢ノ障害ヲ克服シ頑敵ヲ擊破シテ神速南寧ヲ攻略セルヲ祝ス

益々勇戰奮闘シ以テ作戰目的ノ達成ニ邁進センコトヲ望ム

**北海作戰の意義** 北海は南支沿岸に残された唯一の海港であつた。從來北海地方は抗日の熾烈なるところで、昭和十一年秋支那各地で相ついで起つた抗日テロ事件の時も北海で邦人が暴徒に慘殺されたことがある。今次事變以來北海方面の抗日機運は一層烈しかつたのであるが、本新作戰の敢行には次の如き重大な意義を持つてゐる。

佛印國境より、鎮南關、南寧、柳州、桂林を通ずるところの所謂廣西公路は、第三國から購入せる多數の軍用自動車を配置し、粵漢線喪失後に於ける敵の最大なる對外依存路として毎月四千乃至六千噸の軍需品を輸送し、且つ鎮南關より湘桂鐵道に連絡すべき鐵道の建設を急ぎ、滇越鐵道と共に敵の輸血路として重要な役割を果してゐたので、その輸入量は對支輸



入の約三割を占めてゐたといはれる。

而して汕頭陥落後の北海は、雷州と共に俄然その價值を増加し、水淺く不便な小港ではあるが、本年一月より八月末までの對外貿易は輸入百四十六萬元に對し輸出一千三百六十萬元（前年の同期は輸入五十七萬元、輸出百二十四萬元）で、出入船舶は一昨年より十五萬七千九百十七噸が昨年度は二十七萬七千四百十七噸に増加してゐる。

從來帝國は佛國に對し佛印經由支那への軍需品輸送停止を屢々勸告したのであつたが、其の都度佛國側よりは右の如き輸送を行ひ居らずとの回答であつた。然るに本作戦に依り右輸送が豫想以上多量に行はれて居たことの確實なるは目の當り判明した次第である。

## 八、海軍航空部隊の活躍

海軍航空部隊は四月中旬春陽の好時節を利用し全戦域にその武威を發揮して以來、或は偵察に、攻撃に、陸戦隊の殘敵掃蕩戦に或は江上掃海作業に將又陸軍部隊の作戦に大いに協力し、南・中支方面の活躍は最も目ざましく長驅重慶・昆明及び成都をも衝き著しい戦果をあげた。

### イ、南支方面

四月十三日飯田海軍中佐の率ゐる航空隊の精銳機は夕刻密雲を縫ひ長翔して雲南省蒙自上空に現はれ、停車場、飛行場、市街地の軍事施設を爆撃し、敵の地上機六機を爆破した。この戦闘に於て輸送機一機が撃墜されたとの外國筋の報道があつたが、我が航空隊が蒙自飛行場を攻撃したとき、



同所に在つた敵飛行機の一部は恰も離陸逸走を企てつゝあつたので、その後わが飛行機は雲中に隠れて遁走中の大型機を認め之を追撃して不時着せしめた。同機には支那軍用標識たる青天白日章が描かれてあつたのを確認してゐる事は支那方面艦隊當局談を以て明かにされたところである。

十四日は欽縣を空襲し十五日には龍州を奇襲した。二十一日には金門島對岸の敵の據點部落を攻撃大破し、また福州を奇襲して軍機局を始め重要軍事施設の多數を粉碎し、荷役場に猛烈なる火災を起させたほか、大型軍用汽船二隻を銃撃擱坐させた。

二十五日には、福州及び長門、金牌の兩砲臺を反復爆撃し、又二十七日より二十九日まで引續き臺州・温州を攻撃し、三十日には海南島南部奥地交通の要衝たる樂安の敵遊撃隊の重要據點を銃爆して大損害を與へた。

五月一日、二日には更に福州方面の攻撃を實施し、南臺島海軍工廠・馬尾船渠・省黨部・軍機局を爆撃した。

五月四日、航空部隊は地上よりの熾烈なる防禦砲火を浴びつゝ、三回に亘り汕頭・潮州方面の偵察攻撃を行ひ、汕頭市内外の軍用倉庫群を大破して火災を起させ、潮州驛附近の軍用貨車群を爆破顛覆させ、その一部は泉州で縣政府、機銃陣地を銃爆撃した。五日も引續き大舉して二回に亘り汕頭を攻撃、また一部隊は泉州にて市内外の敵軍事機關を爆撃した。六日は三回に亘り汕頭・潮州方面の攻撃を實施し、第一次攻撃に於ては汕頭市内の化學工業所、中山公園内の敵陣地、潮梅行政公署を爆碎し、第二次に於ては潮州にて驛構内軍用列車、發電所、重要化學工場を爆撃大破せしめ、第三次には濟南堤軍用倉庫を爆破し、その一部は又汕頭方面の攻撃に向ひ、



銅山方面の敵軍事施設及び金門島對岸の軍事據點を空爆し、海南島攻撃部隊は島南東の陵水や南西岸の要衝に痛撃を加へ陸戦隊に協力した。

ついで七日、廈門島及び金門島附近の敵據點漳州・南靖の偵察攻撃を實施し、南靖市外の同安・海倉・集美・島美を空爆し、八日には連續三回に亘り延平・福州方面の偵察攻撃を行ひ、一方海南島作戦部隊は敵の軍司令部所在地たる嶺肚・南濫を、また他の部隊は陸軍部隊の嶺門攻略戦に協力したが、その際わが一機は不幸にも敵弾を蒙り火災を起したるため、敵陣めがけて自爆し乗員は壯烈なる戦死を遂げた。九日、永安・泉州(福建省)にて最近移轉せる永安政府機關・泉州市街中央部を爆撃して火災を起させ、雷州半島攻撃部隊は徐聞を攻撃し、他の一部は海南島にて前日に引續き陸軍部隊の嶺門附近掃蕩戦に策應すると共に、南濫方面をも爆撃した。十二

日、漳州・廈門附近にて敵の據點及び兵營陣地を襲ひ、十三日には海南島にて陸軍の作戦に協力して敵の據點南豊(那大南東)を粉碎し、他の一部は陽江市を襲撃し、また雷州半島の偵察攻撃部隊は敵の據點遂溪市街を爆撃した。

十四日、漳州、南安、廈門及び海南島の樂安・萬寧を空爆した。翌十五日、汕頭攻撃部隊は同市内及び濟南堤附近の敵の軍需倉庫群、主要軍事施設を空爆し、更に敵陣地の熾烈なる防禦砲火を冒しつゝ、廈門・永安・福州方面を襲ひ、一方海南島空爆部隊は北部の那大・南豊方面や南部の樂安・萬寧市内の敵抗戦本部を爆破した。十七日、汕頭に於ける市政府警察局、公安局、軍事輸送路を反復爆撃すると共に、福州の外港馬尾をも空爆し、又銅山營を襲ひ、十九日には雷州半島の偵察攻撃を實施し、遂溪市街、敵



の機銃陣地を爆碎したるも、地上よりの防禦砲火猛烈にして我が一機は敵弾を受け敢然敵陣地に突入自爆した。

二十日、大編隊を以て廈門附近に於ける敵の重要據點を反復爆撃し、二十一日、二十二日の兩日も引續き廈門・鼓浪嶼附近の敵陣地に對し猛爆を敢行して據點部落の八ヶ所に大火災を起させ、他の部隊は温州にて製材所、倉庫群を、別働隊は黃華村の兵營陣地を攻撃し、海南島に於ては昌江・北黎市の軍事施設多數を攻撃して火災を起させた。又二十二日珠江部隊の殘敵掃蕩戰に協力し、一方海南島陵水北東附近に蠢動する敵を襲撃した。二十三日は永春の軍事據點を二十四日には龍巖（福建省）の飛行場及び兵舎を初め、汕頭・潮陽等を攻撃し、二十七日、二十八日の兩日福州にては南臺南方の發電所を爆破し、興化に於ては軍需品荷揚中の棧橋を爆碎した。

三十日海南島にては二隊に分れて東岸の萬寧、西南部の北黎の敵據點及び軍事施設を爆破火災を起させ、三十一日も引續き北黎港を反復攻撃して殘敵に潰滅的打撃を與へ、他の一部は惠安・興化・石碼・角尾（福建省）を猛爆した。

六月一日、漳州・石碼・泉州にて敵の陣地、師團司令部所在地に巨弾を投じ全機無事歸還した。四日には海南島の感恩を急襲し主要軍事施設の多數を爆碎して多大の戰果を收めた。

六日南寧を攻撃し敵の軍需品倉庫及び貯藏所を爆撃して倉庫數棟を破壊、一ヶ所を炎上せしめ、又市街西方鬱江に於て約百噸の敵軍用汽艇及び軍用舟艇群を攻撃、汽艇は黒煙に包まれ猛烈に炎上した。又八日臺州海門方面の偵察攻撃を實施し、温州盤石街の倉庫各三棟を爆破せる外、甌江下



流江岸の敵陣地據點を銃撃し、他の一部は泉州港外祥芝嘴の敵陣地を攻撃すると共に、驅逐艦と協力して松嶼半島の敵陣地を爆撃し、又一部は雷州半島石城市内の敵軍事施設を爆撃數ヶ所に火災を起させた外、軍需品倉庫らしき建物を爆碎した。翌九日金牌門附近の軍事施設及び軍用船舶を攻撃し、兵營三棟と砲三門を爆破し、汽艇一隻を撃沈、二隻を破壊した外、温州・臺州・海門方面の偵察攻撃を実施し、黃華村及び盤石下流棧橋附近の建物數棟竝に敵野砲陣地二ヶ所を爆破大損害を與へ、他の一部は南寧北部の倉庫群を爆破した。

十三日南寧攻撃を実施し、軍需品倉庫群を爆撃して其の四棟を炎上せしめ、他の一部は同日及び翌十四日に亘り、閩江江岸砲臺及び其の他の各砲臺を爆撃し、又閩安鎮附近に於て大型軍用汽船一隻を、南臺附近にて汽艇

二隻を爆破した。

十五日福州の偵察攻撃を行ひ、長門砲臺の砲坐一を顛覆せしめ、十六日、十七日は萬寧附近の敵據點を爆撃して大損害を與へた。

二十一日海陸軍の汕頭攻略戦に協力、埼碌砲臺を爆撃沈黙せしめ、二十三日には潮汕地方及び南安・長汀・運平の敵陣地を爆撃し、他の一部は敵軍用舟艇に搭載中の軍用自動車約四十竝に路上の同自動車群を銃爆撃して大損害を與へ、翌二十四日には贛州に於て敵の軍需品倉庫群及び軍用舟艇群を攻撃して倉庫二棟その他を爆破し、韶州に於ては軍用貨車二輛及び建物二棟を爆破し、又他の一部は梅縣東方の敵兵舎を破壊し軍用自動車十數輛を銃撃して其の一部を炎上せしめ、又二十六日には陸軍部隊の潮州攻略に協力して多大の戦果を收め、翌二十七日は福州金牌門附近の砲臺及び砲



艦楚泰を爆撃大損害を與へた。更に三十日温州・福州閉塞線に協力せる外、興北東方の敵兵營を爆撃し、且つ同下流の敵軍用汽艇を銃撃した。

七月二日定海の陸戦隊揚陸に協力、他の一部は海南島の敵據點たる新英の南方二十哩を爆撃大損害を與へ、翌三日他の一部は福州閉塞戦に協力せる外、沙縣飛行場に隣接せる敵兵營を爆撃して其の八棟を大破し、更に沙縣及び延平に於て軍用自動車十五臺と水口、福州間に於て航行中の軍用汽艇五隻とを爆撃大損害を與へ、又四日には三都澳及び福安の敵倉庫群並に兵營等を爆撃し、六日には熨斗島敵陣地及び金牌門砲臺その他を爆撃、翌七日は福清東端の敵兵舎及び福州北部の軍事施設を爆撃して何れも大損害を與へた。

八日柳州飛行場を攻撃して建物及び飛行場の東半部に大損害を與へ、翌

九日平海灣に於て敵の百五十噸汽艇一隻を攻撃大損害を與へた外、埼頭山陣地及び疊石附近の敵軍事施設を爆撃した。又十一日金牌門砲臺を攻撃して敵砲門中その四門と兵舎一棟を撃破せる外、附近軍用汽艇三隻を銃撃し、他の一部は甫頭の陸上軍需倉庫二棟を爆碎、汽艇二隻を銃撃して共に大損害を與へた。

十三日南方閉塞部隊の作戦に呼應して三都澳より銅山灣に至る沿岸一帯を偵察攻撃し、他の一部は福安方面の敵軍事施設並に東山敵據點及び漳江下流に於て約二百噸の大型軍用汽艇一隻を爆碎し、又湄州浦にて百噸級軍用汽艇一隻を大破せしめた。十七日海南島部隊の北黎攻略に協力して敵據點を爆撃炎上せしめ、翌十八日陸戦部隊に協力して舟艇の水路嚮導に任じ、他の一部は汕尾附近の敵陣地を爆撃して多大の損害を與へ、又二十日汕尾



に於ける陸戦部隊の揚陸掩護の外、附近の敵據點を爆撃大打撃を與へた。

二十一日、二十二日宜山、龍州鎮・南寧・鎮南關方面その他を攻撃して敵軍事施設及び軍需倉庫群を爆撃炎上せしめ、又二十四日より同末日に亘り、珠江部隊の横門作戦に協力して多大の戦果を収めた。

八月一日鬱林・南寧・興寧方面の敵軍事施設を爆撃し、他の一部は福州電光山砲臺火薬庫を爆碎した外、敵兵舎二棟及び軍需倉庫一棟を潰滅せしめた。

翌二日より五日に亘り龍州・南寧・寧明・鎮南關・漳州方面の敵軍事施設及び軍需倉庫群を爆撃して多大の戦果を収め、六日より九日まで海門閉塞部隊の閉塞戦に協力して敵陣地を爆撃し、九日海門灣では敵の軍用汽艇三隻を、甌江にて一隻を爆沈し、十三日には海南島陸戦部隊の萬寧攻略戦

に協力した。

八月中旬より同下旬に亘り、柳州、潮州、南寧、龍州、北海、憑祥、雷州等各方面の敵據點軍事施設及び倉庫群等を爆撃炎上せしめて大戦果を収めた外、他の一部は二十日潭州門作戦部隊に、二十二日汕頭方面陸軍部隊の掃蕩戦に協力し、翌二十三日には銅山作戦に協力し、又南寧に於ては敵の軍需倉庫群を爆撃して其の六棟を大破せしめ、二十九日には武鳴・南寧を攻撃して敵の軍用自動車七臺を爆碎し、軍需倉庫に大損害を與へた。

九月初旬より下旬に亘り、柳州・貴縣・賓州・雷州・潮州・南寧・潮汕・横門等方面の敵の據點軍事施設や軍需倉庫群を爆撃して多大の戦果を収めた。此の間六日には湄州灣（福州厦門の中間）の閉塞戦に、翌七日は横門作戦に協力し、又二十三日、二十四日には陸軍部隊の湖南作戦に呼應して



海軍の湘江作戰部隊に協力し日覺ましき活動を續けた。

七六

十月初旬より下旬に亘り、陵水・橫門・潮州・梅縣・北海・龍州・鎮南關・桂林・武鳴・臺州・南甯・溫州・三都澳方面の敵軍事施設及び倉庫群、軍用舟艇群等を爆撃して多大の戦果を収めた。即ち二日は珠江部隊の中山作戰に協力して敵據點を爆撃した外、熾烈なる高角砲火を冒して桂林・武鳴各飛行場その他敵の軍事施設を攻撃大損害を與へ、十四日には湘桂線全縣及び宜山方面を攻撃して敵軍需倉庫群を爆破炎上せしめた。

十一月一日興化・電白及び靈山その他各方面の敵據點及び軍需倉庫群の爆撃を初めとし、同上旬以來南支各方面の敵軍事施設その他飛行場及び兵舎等を爆撃して大損害を與へた。

又十五日には風速二十米の悪天候を冒して北海方面に於ける南寧作戰陸軍部隊の上陸作戰に協力し、その後引續き敵陣を爆撃して多大の戦果を収めた。

#### ロ、中支方面

四月十日海軍航空部隊は浙贛線交通機關攻撃に多大の戦果を収め、同鐵道沿線地區に大爆撃を敢行、十三日鄱陽湖東岸湖口より繁昌に至る揚子江東南地區一帶の敵據點の偵察攻撃を行ひ、走馬坂・南陵の軍需品倉庫を粉碎した。二十一日天候の回復を待つて山ノ上海軍少佐の指揮する精銳部隊は、長驅芷江を急襲し多數の軍事施設を爆破して大損害を與へた。二十二日には内郷を急襲、同飛行場及び市街軍事施設を爆破し、市街三ヶ所に大火災を起させ、また麗水・建甌・玉山・衢縣の各飛行場及び貴溪の軍事施設を攻撃し、別働隊は鎮海・寧波方面の偵察攻撃に任じ、威遠砲臺及び附

七七



近軍事施設を爆撃し、何れも相當の防禦砲火を認めたが我が方損害なく全機無事歸還した。二十三日高安縣城を空襲し、同市街敵據點陣地を爆破した外、建甌飛行場を大破した。尙浙贛線補給路遮斷に向つた他の部隊は金華驛に於て堆積せる軍需品及び格納庫を爆撃して數ヶ所に火災を起させた。

二十六日鎮海・寧波地方を偵察して宏遠砲臺その他を襲撃し、温州攻撃部隊は縣政府その他を爆破した。二十七日一部隊は贛州(江西省)・長汀(福建省)を、別働隊は高郵市・撫河兩岸(江西省)の敵を攻撃した。二十八日撫河方面に侵入して敵の陣地、密集部隊及び羅溪・進賢・李家渡・高安・宜豐方面の偵察攻撃を行ひ、他の部隊は寧波を攻撃した。

二十九日は陸軍部隊の作戰に協力して南昌南方市汊街以東新村墟方面に侵入した敵を攻撃し、三十日には大舉して寶慶・辰谿(湖南省)を急襲し、敵の遊撃隊司令部所在地幽蘭市を徹底的に攻撃した。

五月一日寧波江岸の軍需倉庫群、市内工場、兵舎、軍用舟艇等を爆撃して火災を起させ、また棠鮑・三陽・東郷・豐城等の敵兵集結點及び後方軍事據點を爆撃した。二日も南昌南方の新墟村・高郵市北西方汪村の敵兵集結點に巨彈の雨を浴びせ、他の部隊は高安西方の村前街・寧波方面を攻撃した。三日江西省方面の陸軍部隊に協力し奉新南方の敵陣地を攻撃して戦果を収めた。

長い間悪天候に阻まれて奥地攻撃の機を得ず基地に待機してゐた海軍航空部隊は翌三日折からの好天に乘じ、増田、入江兩少佐の率ゐる大編隊を以て大舉重慶に對し本年度第一次攻撃を執行し、軍事委員會委員長行營を



主目標に大爆撃を敢行した。この時わが部隊は敵の熾烈なる防禦砲火を浴びつゝ、敵戦闘機約三十機と三十分に亘り猛烈なる空中戦を展開し、その約十機を撃墜したが我が二機は無念敵弾のため火を發し、搭乗員は壯烈なる戦死を遂げた。

四日夕刻再び大舉して重慶を空襲し、防空司令部、軍事委員長行營を爆破した外、附近數ヶ所に火災を起させた。本攻撃に於て市外西方の各國領事館の所在地附近の數十門より成る高角砲陣地より盛んに我が飛行機を射撃したので、我が一部隊は敵の高角砲陣地を爆撃沈黙させた。

尙敵の戦闘機四機は我が機を追撃して來たが、われは之を撃退して全機悠悠基地に歸還した。

又他の一部隊は同日悪天候をつき、浙江省中部水陸交通の要衝たる金華竝に玉山・吉安の兩飛行場を急襲し、五日南昌方面に於ては陸軍部隊の作戦に協力して連塘市附近の敵の有力部隊及び根據地を銃爆撃し、寧波攻撃部隊は軍需工場、倉庫、棧橋を爆破火災を起させた。七日には襄陽、南陽、西安の重要據點を急襲し、一部は宜昌にて飛行場、兵營を爆破した。九日南昌附近の羅溪市、進賢を、他の一部は揚家山附近(湖口東方)、太平關・石澗舖を襲撃し、更に他の一部隊は寧波市内の軍事施設や江岸軍需工場に巨弾を投じた。十日には鎮海方面を空襲して鎮海砲臺上空の敵を制壓すると同時に寧波をも爆撃した。十二日、衡陽の飛行場、軍事施設に直撃弾を與へ、又寧波市に第七次攻撃を行ひ兵舎を爆撃した。

同日入江少佐の指揮する精銳機は、第三次重慶夜間空爆を決行し、江北軍事施設竝に市街を爆撃し潰滅的損害を與へた。爆撃前より敵の戦闘機二



隊（一隊三機編成）は我を追躡して來たが、我はその一機を確實に撃墜した。翌十三日、玉山飛行場を襲ひ、南昌附近にては陸軍部隊に協力して戦果を擧げた。

十四日には寧波市街中心部、紹興市内兵營を、十六日、十七日の兩日には、太平關（湖口東方）附近に蠢動中の殘敵を痛撃潰走せしめ、一部は陸軍部隊に策應し、新村墟附近の殘敵據點を爆破して多大の損害を與へた。又二十一日、繁昌縣を爆撃し、荻港附近の山岳地帯にあつて我が揚子江航行船舶を射撃する敵遊撃隊の掃蕩に任ずる陸軍部隊の作戦に協力して多大の戦果を収めた。

二十五日、月明を利し勇躍大舉して第四次重慶空襲を決行した山ノ上少佐の指揮する部隊は、午後九時頃敵の首都上空に現はれ、市街東部の軍事委員長行營を目ざして巨弾の雨を浴びせ、多數の重要軍事施設を爆碎し數ヶ所に火災を起させた。

この戦闘に於て挑戦して來た敵の四機のうち、其の一機を撃墜したるも、市街の周邊、特に江岸外人住宅地附近より熾烈なる高角砲及び大型機銃の猛射を受け、我が一機も遂に敵弾を受け、勇敢にも敵陣に突入して自爆した。同夜入江少佐の指揮する他の一隊は廣陽壩飛行場を襲撃し歸途培陵附近を空爆した。

六月一日、寧波方面にて敵の集結地たる慈谿を空襲し、三日寧波附近の偵察攻撃を行ひ、四日撫州市にて敵軍司令部その他多くの軍事施設を襲ひ、浙贛線攻撃部隊は敵の反撃を制壓しつ、萍鄉・貴溪・廣信・河口鎮附近にて列車・軍用自動車群を銃爆撃して之を潰走せしめた。五日精銳部隊は、



朝來の密雲細雨をつき大舉して紹興・吉安・岡上街・泰和にて兵營・密集部隊・軍事施設の多數を爆破し、地上よりの反撃を制壓しつゝ、全機悠々歸還した。

六月十一日、天候に恵まれた航空部隊は、長驅成都の第一次攻撃を決行して敵の軍事施設を爆撃し、財政廳・工科學院・省政府・民政府・四川省黨部、電政局に巨弾を投じ四ヶ所に大火災を起させ敵に多大の打撃を與へた。爆撃直前より敵の戦闘機十八機と約二十分間に亘り空中戦を演じ、その四機を撃墜（内三機確實）した。

又同日重慶第六次攻撃に向つた他の部隊は、重慶郊外の軍事施設や市外北西會家岩附近を爆撃して七ヶ所より火災を起させ敵に多大の損害を與へた。爆撃直後敵の戦闘機六機と交戦約二十分にして其の二機を確實に撃墜した。

二十三日陸戦隊の舟山島攻略に協力、翌二十四日は鎮海砲臺及び敵軍事施設等を爆撃した外、陸軍部隊に協力して奉新西方の敵據點を攻撃大打撃を與へた。

又二十八日には奉節及び鎮海砲臺を爆撃し、三十日には梁山及び巫山を攻撃して敵軍事施設及び飛行場に大損害を與へ、他の一部は陸軍作戦に協力、南昌東方の梅莊を爆撃して戦果を収めた。

七月五日好天氣に乗じ前後二回に亘り重慶の軍事施設及び廣陽壩飛行場の夜間攻撃を敢行した。即ち重慶を空襲した第一回部隊は市街中央部二ヶ所より第二回には同じく一ヶ所より火災を起させ廣陽壩飛行場に對してはその中央より西部に亘り巨弾を命中させ大損害を與へ全機無事歸還した。



翌六日も前後二回に亘り重慶の夜間攻撃を行ひ、第一回は政治部所在地たる川監銀行、憲兵司令部を中心に、市街北東部に爆弾を命中、一ヶ所より大火災を起させ、第二回は中央公園の北方及び西方地區を攻撃して一ヶ所を炎上せしめ何れも大損害を與へ、他の一部隊は廣陽壩飛行場の西半及び滑走路附近を爆破した。又七日南昌方面の敵據點を攻撃し、他の一部隊は鎮海、威遠砲臺兵舎竝に浙江臺州の軍事施設を爆撃して大損害を與へた。

二十四日重慶の攻撃を實施し、江北及び重慶兩市街の軍事施設を爆撃して二ヶ所より火災を起させた。本攻撃中戦闘機五機と交戦せる外、熾烈なる照射砲撃を受けたるも全機無事歸還した。他の一部隊は同日豐城市街江岸の敵軍需倉庫群及び江水路交通線その他の軍事施設を爆撃し、又二十六日以来珠江部隊の作戰に協力して多大の戦果を收めた。

三十一日第十回目の果敢なる重慶夜間空襲を敢行し、軍事施設及び廣陽壩飛行場に對し大損害を與へた。本攻撃中敵の照射及び地下砲火は猛烈を極め、又敵戦闘機五機と壯烈なる戦闘を交へて其の一機を撃墜し、全機悠悠歸還した。

八月二日、二回に亘り重慶攻撃を行ひ、重慶西方郊外の支那要人會議所、政府機關、軍事施設及び廣陽壩飛行場に對し大損害を與へ、翌三日重慶夜間攻撃を敢行し、廣陽壩飛行場及び重慶西方曾我岸南方の軍事施設を爆撃して何れも大打撃を與へた。本攻撃中地上より猛烈なる照射砲撃と敵戦闘機の執拗なる攻撃を受けたるも我方には被害はなかつた。四日引續き重慶夜間攻撃を敢行して重慶西方の軍事施設及び廣陽壩飛行場に大損害を與へ、本攻撃中敵戦闘機と交戦、熾烈なる照射砲撃を受けたるも我に被害な



く全機無事歸還した。

十八日大舉して辰州方面の敵軍事施設を攻撃し、軍需倉庫八棟を爆破又は炎上せしめた。

二十三日重慶の西方十軒の少龍坎の軍事施設を攻撃し、市街を中心として數ヶ所より火災を起させ大損害を與へ、二十八日大舉して再び少龍坎に對し夜間攻撃を敢行し、敵軍事施設及び工場地帯に大損害を與へた。三十日月明を利し大舉二回に亘り、白市驛及び飛行場に對し夜間攻撃を行ひ、市街一面に大火災を起させた外、飛行場數ヶ所を炎上せしめ、又一部隊は宣昌城及び廣陽壩飛行場を爆撃した。

九月一日大舉して梁山飛行場の夜間攻撃を敢行し、一部は濛氣のため目標を變更して廣陽壩飛行場及び萬縣を爆撃し、いづれも大損害を與へ、又

同下旬以來陸軍部隊の湖南作戰に協力して石街・赤崗山・九仙湯附近その他の敵陣地及び密集部隊を攻撃大打撃を與へた。

二十八日大舉して重慶附近の敵航空基地に對し夜間一齊攻撃を行ひ、廣陽壩飛行場には甚大なる損害を與へ、他の一隊は敵戦闘機五機と猛烈なる空中戦を演じ、又他の一隊は梁山航空基地を攻撃大損害を與へた外、奉節の軍事施設をも爆撃した。更に翌二十九日は遂寧・廣陽壩兩飛行場を、三十日は奉節・巫山・恩施各飛行場及び軍事施設を爆撃して大損害を與へた。

十月一日大舉して成都方面の空襲を敢行し、濛氣を冒して鳳凰山航空基地を攻撃して飛行場西半の基地施設を爆破し、地上より敵の熾烈なる照射及び高角機銃射撃を受けつゝ、七分間に亘り敵戦闘機二機乃至三機と交戦し、又一隊は、遂寧航空基地を爆撃し、他の一隊は太平寺と覺しき航空基



地を襲ふて大打撃を與へ、更に巴東軍事施設をも爆撃した。本攻撃中成都その他の重要都市に傳單約十五萬枚を撒布した。

翌二日海陸軍部隊の高郵作戰に協力して敵陣地を爆撃し、陸軍部隊、陸戦隊及び湖上艦艇と相呼應して高郵縣城を占領した。又三日及び四日は引續き中支方面に於ける敵機使用基地と覺しき各飛行場等を攻撃し、他の一隊は少龍坎に對し夜間攻撃を執行して工場地帯に火災を起させた。

爾來十月上旬より下旬に亘り引續き中支方面に於ける敵飛行基地その他の軍事施設及び倉庫群等を爆撃して多大の戦果を收め、十五日には零陵飛行場の東方約一千米附近の廣場に隠蔽中の敵機三機を發見攻撃して、その二機を炎上又は大破せしめた。

十一月四日大舉して成都方面敵航空基地の晝間攻撃を敢行し、溫江飛行

場に於ては敵機約七機と燃料庫を大破炎上せしめ、鳳凰山飛行場にては大型敵機一機と戦闘機數機に對し大損害を與へた。鳳凰山飛行場を攻撃した部隊は、二回に亘り敵戦闘機約三十機と猛烈なる空中戦を展開し、敵機五機（内確實二機）を撃墜した。本戦闘中わが方も二機、不幸にして壯烈なる自爆を遂げた。奥田喜久司大佐が成都空襲の華と散つたのも此の時であつた。

爾來同上旬より下旬に亘り、中支方面の敵飛行基地、軍事施設及び倉庫群等を爆撃して多大の戦果を收めた。而して二十七日夕刻より二十八日末明に亘り、大舉して蘭州夜間攻撃を敢行し、更に二十九日夜半より三十日午前に亘り連續蘭州を爆撃、一部は西安をも空襲し、夜間攻撃に於ては敵戦闘機三機と空中戦を交へ、晝間攻撃に於ては蘭州市街軍事施設竝に東飛



行場の滑走路その他附屬建物に大損害を與へた、又本攻撃中敵の四機挑戦し來りたるも、我は之を撃攘して全機無事基地に歸還した。

#### ハ、北支方面

海軍航空部隊は北支一帶に亘り間斷なき偵察攻撃を實施し戦果を擧げてゐるが、四月十五日には陸軍部隊の作戰に呼應して山東省招遠東方の敵陣地及び郭家店を爆撃し大損害を與へた。

五月十九日航空部隊の精銳は、芝罘附近に蠢動しつゝ、ある敵敗殘部隊の掃蕩に協力し、敵の據點數十ヶ所を爆撃し、二十一日より二十四日に亘り、泊兒鎮、萊陽・夏村等を逐次爆撃し、二十九日、三十日の兩日は山東半島の要衝萊陽附近を、三十一日は同半島の日照を銃爆撃した。

六月一日、山東半島海陽にて敵の軍需品倉庫を襲撃し、二日、三日の兩日に亘り、鹽城（江蘇省）の敵兵營を反復攻撃したるほか、東臺の無線電信臺を銃撃して大破させた。六日鹽城附近の敵據點を爆撃し、翌七日夾倉鎮の敵陣地を攻撃し、九日には九里波及び劉家庄等の敵の據點及び密集部隊に銃爆撃を加へて大損害を與へ、十二日には石臼所及び日照西方の敵陣地を爆撃した。

翌十三日陸戦隊の石臼所攻略戦に協力して日照南方山地の敵陣地を爆撃し、他の一部は日照附近の敵部落を爆撃炎上せしめ、又十六日には石臼所・日照方面の敵據點を爆撃し、又安東街附近部落の敵を銃爆撃して之を潰滅せしめた。次いで二十五日灌河上流附近では敵を銃爆撃して大損害を與へ、二十八日には裡島附近の敵據點を爆撃した。

七月五日航空部隊は萊陽・招遠の敵據點を爆撃し、翌六日他の一部は石



日所北方濤落鎮の敵據點を攻撃炎上せしめた。八日、九日龍口・招遠及び威海衛方面の敵據點を攻撃して大打撃を與へ、又十六日、十九日、二十日には威海衛附近の敵據點を爆撃し、又一部は陸軍部隊の作戦に協力して南昌方面の敵を制壓し、二十六日には海陽北西方の兵器工場を爆撃して大損害を與へた。

八月二日江蘇省北部沿岸及び埠寧對岸、文登方面を爆撃して戦果を收め、八日、九日は威海衛附近を爆撃し、又十二日、十三日に亘り登州、大辛店及び龍口方面を攻撃した。

又九月中旬以來海陽北方灌河、射陽河、萊州、龍口、方面及び鹽城等を爆撃した。

十月七日、八日芝罘陸戦部隊の牟平方面掃蕩戦に協力して敵據點を爆撃

し大打撃を與へ、十三日には龍口、萊州、漣水附近を爆撃した。十四日、十五日には再び射陽河、埠寧、龍口、萊陽、鹽城方面を攻撃し、十九日には招遠方面を爆撃した。

十一月三日、芝罘附近の敵據點を爆撃し、六日には再び芝罘南方の敵陣地を攻撃し、十四日には芝罘陸戦部隊の萊山方面掃蕩戦に協力して多大の戦果を收めた。

以上は海軍航空部隊の支那各地に於ける攻撃の概要であるが、更に支那奥地に對する爆撃の主なる戦果は次表の通りである。

地名	年月日	戦果	交戦敵機	我が被害
蒙自	一四、四、一三	地上機 炎上四 破壊二		
		大型輸送機一を不時		



蘭州					
					一四、 六六、 七七、 七七、 八八、 八八、 八八、 九九、 九九、 〇〇、 一一、 一一、 一一、 〇九、 〇八
		擊墜一	擊墜二		
	戰闘機五	戰闘機六	戰闘機五	戰闘機三	戰闘機二、 五

重慶	遂寧	成都	瀘州	昆明
一四、 五、 五、 五、 二、 五	一四、 一〇、 二、 四	一四、 一〇、 六、 一、 一	一四、 九、 一、 一	一四、 四、 八
擊墜一 (不確實)	擊墜約一〇 (確實五以上)	擊墜四 (內三確實)	地上機 溫江約七 鳳凰山 大型一 戰闘機數機	着せしむ 地上機 炎上一五 二〇
戰闘機四	戰闘機約三〇	鳳凰山 戰闘機二、 三 太平寺 戰闘機一、 二	戰闘機一八	戰闘機約一七
一機	二機			



(附表)

九、支那事變海軍作戰經過一覽表 (三)

(自昭和十四年十一月十一日 海南島攻略後より  
至同十四年十一月三十日 北海作戰迄)



年月日	海軍關係主要事項	其の他の關係	空襲機主要所	敵機擊墜數
一四年 二、二	江上部隊の砲艇隊及び陸戰隊の一艇四隻を拿捕す 聯合陸戰隊は海南島澄邁灣要地を確保す 航空部隊は海南島及び雷州半島の要地を攻撃し、他の一部隊は陸軍部隊の戦闘に協力す		南支—海南島、 雷州半島	
二、二	掃海隊揚子江の要所清掃 航空部隊は陸軍部隊の戦闘に協力 他の一部隊は北海廉州方面の偵察攻撃を行ふ		南支—北海、廉 州	
二、一三	海軍舟艇岳陽方面の陸軍作戦に協力し、砲艇隊及び掃海隊は半壁山及び安寧水道附近の清掃を續行す 航空部隊海南島を攻撃す 艦載機隊は射陽河、淮陰方面を偵察、射陽下流の敵軍需品倉庫を爆撃す 海軍舟艇は洞庭湖方面の陸軍作戦に協力敵監視兵及び大型軍用舟艇		北支—射陽下流 南支—澄邁灣、 澹縣	



二、一八	二、一七	揚子江部隊の軍艦一隻は引續き岳陽の流軍作戦に協力す、又砲艇隊の江部は老爺廟の敵と交戦す、掃蕩南島部隊三日開始、東方の敗残兵を掃蕩す。	揚子江部隊の軍艦一隻は引續き岳陽の流軍作戦に協力す、又砲艇隊の江部は老爺廟の敵と交戦す、掃蕩南島部隊三日開始、東方の敗残兵を掃蕩す。	瓊山治安維持會 發會式施行	處分機雷 二		南支—海南島、 雷州半島		
				五					

二、一六	二、一五	二、一四	航空部隊は浙贛線金華驛を爆撃線	航空部隊は射陽河上流兩岸の	航空部隊は射陽河上流兩岸の	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—射陽河	中支—南陽、屏風山	北支—登州附近	敵遺棄死體三〇 興亞院現地に連絡部設置	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近
南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近	南支—海南島	中支—浙贛線	北支—登州附近



二、一九	海南島陸戦部隊は占據地區の掃蕩を實施し兵器を鹵獲す	鹵獲品 小銃 一 拳銃 三 三亞港市に治安維持會結成	
二、二〇	海軍舟艇は陸軍部隊に協力して岳陽上流に進出する。姚溝附近にて掃海艇約二十名の來襲を受く。掃海艇陸戦隊は附近を掃蕩して敵六名を斃し二名を捕虜とし武器を鹵獲す。航空部隊は宜昌飛行場の偵察攻撃を行ひ滑走路を爆破す。	處分機雷 二 鹵獲品 小銃 二 手榴彈 五	中支—宜昌飛行場 中支—諸城南方
二、二二	池州、南港間全江面の清掃を完了し、他の一部は陸軍部隊の望江攻略戦に協力す。航空部隊は中支方面の敵據點、軍事施設及び軍用舟艇群を爆撃し大損害を與ふ。海南島部隊の各陸戦隊は占據地域内の掃蕩を續行、崖縣西方に於て武器彈藥を押收す。	押收品 小銃 七 彈藥包 八	中支—平江 中支—鄰陽湖北 部 長湖 部 宜昌 部 南陽荆門
二、二三	海軍舟艇は洞庭湖方面の陸軍作戦に協力し、君山附近で軍用舟艇二隻を鹵獲し、又蘇州河警備艦艇は黃渡鎮上流で匪賊を撃退す。航空部隊は鎮海砲臺及び臺州を攻撃大打撃を與ふ。陸戦隊は占據地域内の掃蕩を續行す。	海口治安維持會 發會式施行	中支—鎮海、臺州
二、二三	掃海隊は九江、蕪湖間の再清掃を完了す。又岳陽方面の海陸協同作戦は本日をもって終了す。海南島部隊の陸戦隊は占據地域内の掃蕩を續行す。	處分機雷 二 捕虜 二 鹵獲品 小銃 二	威海衛陸戦部隊は治安隊と共に威衛方面の殘敵を掃蕩す。







三、 七	三、 六	三、 五	三、 四	航空部隊は南支の偵察攻撃を實施す
航空部隊は石牌鎮附近の敵陣地を鹵獲す	航空部隊は廉州の敵陣地及び陽江	航空部隊は雷州城を爆撃す	艦載機は雷州半島の軍需倉庫群を爆撃す	
小銃 一五				
中支—牌石鎮附近	北支—東坎鎮、楊寨鎮、溝安墩、五新港	北支—連水南東	南支—雷州半島	南支—興化、龍溪、泉州

三、 三	三、 二	三、 一		
航空部隊は北支の偵察攻撃を實施す	航空部隊は北支の偵察攻撃を實施す	航空部隊は北支の偵察攻撃を實施す		
小銃 四〇	小銃 四〇	小銃 四〇		
北支—阜寧、水口	北支—阜寧、水口	北支—阜寧、水口		



三、一四	三、一三	三、一二	
又及び隊連地力航湖の戦江近損を航 爆航空射は雲を空偵空に一に上陸害有部空 撃部敵兵陽港偵他部於部艦軍部と部隊 す部兵陽陸偵の隊は敗杜家軍部の約 隊を河戰部一は部陽兵口部作他約 は攻方部隊す部陽兵口部作他約 中南大偵敵掃蕩、艦載機 支損偵察軍用、艦載機 方面害を與ふ。艇群 の敵要地	空に於ては陸軍部の作戦に協力を 湖に於ては陸軍部の作戦に協力を 航空偵察隊は敵の約一隊を 偵察隊は敵の約一隊を 偵察隊は敵の約一隊を	掃海隊の一部は屏風山附近の敵陣 地を偵察隊は江灣内の軍用舟艇の 掃蕩部隊は終了す江灣内の軍用舟艇の 航空部隊は射陽河兩岸附近にて敵 外爆撃隊は打撃を與ふ	を爆撃し多大の戦果を収む
鹵獲品 小銃一〇六 彈藥包五〇 處分地雷一〇二		去る九日掃蕩開 始以來の成果 軍用舟艇二、小 銃三、同彈藥包 七、三、三、同 俵七、三、三、	
北支—射陽河方面	南支—修水、樂平	北支—海州附近 南支—雷州、廉州	州、泉州

三、一	三、一〇	三、九	三、八
航空部隊は射陽河兩岸附近にて敵 兵塔乗の軍用舟艇群を爆撃大損害 を與ふ。又南支方面の敵軍事施設	航空部隊は射陽河兩岸附近にて敵 兵塔乗の軍用舟艇群を爆撃大損害 を與ふ。又南支方面の敵軍事施設	航空部隊は射陽河左岸の敵據點を 爆撃す。機雷揚收處分す	航空部隊は射陽河左岸の敵據點を 爆撃す。機雷揚收處分す
機雷揚收處分 一二		破沈軍用舟艇七隻 倉庫二棟大	彈藥包二二〇 拳銃一〇
北支—射陽河沿岸 南支—雷州、福	南支—金牌砲臺	北支—射陽河沿岸 南支—海安、漳州、泉州	北支—鹽城、射陽 祭家橋、東坎 鎮、寨鎮、東坎



三、一九	三、一八	三、一七
<p>鄱陽湖方面作戦部隊は引き続き呉城を攻撃し、陸軍部隊は我が艦艇を伴って海門に於て荷役中の軍用汽船を爆撃擱坐せしむ</p>	<p>鄱陽湖方面作戦部隊は引き続き呉城を攻撃し、其の先頭は呉城北方に航空部隊及び浙贛線交通機關を爆撃</p>	<p>衛南東へ進撃敵兵を掃蕩す、小石附近及び華容東方湖上、鄱陽湖を掃蕩す、航空部隊は中支方面の敵陣地、軍事施設及び浙贛線交通機關を爆撃、大損害を與ふ、海軍部隊の一部は藤橋市を占領、次に附近部落を掃蕩多数の武器を鹵獲す</p>
<p>敵遺棄死體 一五〇 鹵獲兵器 一〇〇 小銃約一〇〇 迫撃砲機銃各一</p>	<p>處分機雷 一一</p>	
<p>中支—吳城方面 南支—海門</p>	<p>中支—吳城方面 浙贛線</p>	<p>中支—大鷄山、小鷄山、吉安、揚家鎮、襄陽、宣城</p>

三、一六	三、一五	
<p>威海衛陸戦隊は治安隊と共に威海衛を攻撃大損害を與ふ</p>	<p>航空部隊は平江を攻撃、敵軍司令部その他に潰滅的損害を與へ、他の一部は連成州附近の匪賊を撃攘す、海軍部隊は北洞庭湖上を掃蕩、艦艇一部は海門市街を攻撃し、他</p>	<p>中支根據地部隊は引き続き陸軍部隊に協力、老爺廟を占領す、驅逐艦の一部は鎮海砲臺を砲撃す、又砲艇隊の一部は黃浦江及び蘇州河にて匪賊を撃攘す</p>
<p>鹵獲品 虜 七六 小銃 一 小銃彈 六〇〇</p>	<p>中支—平江、浙贛線</p>	<p>中支—徐家鋪、老爺廟、都昌、宜昌、鹿角、南支—廈門方面、潮陽水道</p>
<p>中支—都昌、東鄉、羅坊、熊家山、豐城、貴溪、七陽</p>	<p>北支—鹽城附近</p>	



<p>三、二四</p> <p>又他の一部隊は南支の北海敵兵攻撃に協力す</p> <p>軍用貨車數十輛を爆撃大損害を與ふ</p> <p>航空部隊は強風低雲の悪天候を冒して修水方面の敵陣地を攻撃し、浙贛線の陸軍部隊は協力を與ふ</p> <p>領事街掃蕩を完了、吳城を完全に占領す</p> <p>閉塞線の一部を啓開し、陸軍部隊は贛江方面の敵陣地を完全占領す</p> <p>鄱陽湖方面の敵陣地を啓開し、陸軍部隊は贛江方面の敵陣地を完全占領す</p>	<p>三、二三</p> <p>航空部隊は吳城及び修水方面の敵陣地を爆撃大損害を與ふ</p>	<p>三、二二</p> <p>陸、敵の猛火を冒して進撃、右側高地を占領、次に於ける陸軍部隊は掃蕩し、他の一部は吉陽に於ける砲艦は横沙に於て軍用舟艇二隻より武器彈藥を鹵獲す</p> <p>航空部隊は泉州、興化方面の敵陣地を偵察、冠頭角砲臺を爆撃し、附近の偵察隊は廉州を攻撃して多大の損害を與ふ</p>
<p>鹵獲品 地雷 約八〇 小銃 一〇〇 彈藥多數 三〇〇</p>	<p>處分機雷 一 敵遺棄死體 約八〇</p>	<p>鹵獲品 小銃 九四 機銃 四四 小銃 二九 手榴彈 二</p>
<p>中支—修水、桂 家芥、豐城</p>	<p>中支—吳城、修水、南昌</p>	<p>南支—泉州、興化、洛陽、北海、海南島</p>

<p>三、二二</p> <p>又中支の陸戰隊は吳城北突角に揚威海衛陸戰隊は敵遊撃隊の據點榮城に進撃百名の敵を掃蕩す</p> <p>珠江部隊は珠江灣に於て軍用舟艇を拿捕す</p> <p>航空部隊は中支方面の敵陣地及び器及び彈藥多數を鹵獲す</p> <p>交へ、飛行機と協力して激戦を交へ、燕南方面の敵陣地を支援す</p> <p>又陸軍部隊の一部は陸軍部隊を支援す</p> <p>前線に進出する部隊は激戦を交へ、陽湖方面の敵陣地を支援す</p> <p>鄱陽湖方面の敵陣地を支援す</p>	<p>三、二〇</p> <p>芝罘陸戰部隊は治安隊と共に附近の殘敵掃蕩作戦の損害を與ふ</p> <p>鄱陽湖方面の敵陣地を支援す</p> <p>猛撃を加へ、閉塞線を突破し、進出</p> <p>の海に閉塞線を攻撃す</p> <p>航空部隊は中支方面の敵陣地及び器及び彈藥多數を鹵獲す</p> <p>珠江部隊は珠江灣に於て軍用舟艇を拿捕す</p>
<p>敵遺棄死體 一〇〇 鹵獲兵器 約五〇 軍用舟艇 五〇 石炭 五噸</p>	<p>敵遺棄死體 四〇 處分機雷 一 鹵獲品 三〇 石油 一〇 セメント 六八俵</p>
<p>中支—吳城、鄱陽湖方面、福州</p>	<p>中支—吳城方面、溫州、雷州半島</p>



三、二五

艦艇及び掃蕩隊は灌河兩岸の敵據  
點上艦艇は武穴附近の敵を擊攘、  
江上艦艇は武穴附近の敵を擊攘、  
他の上艦艇は武穴附近の敵を擊攘、  
竝に修水側地帯を掃蕩、陸隊は開  
引續き吳城附近の敵を猛爆大  
航空部隊は中支方面の敵を猛爆大  
打撃を與ふ

敵遺棄死體 五

中支—線水及び  
南潯線附近

三、二六

萬家埠附近の敵陣地及び爾羅湖北  
航空部隊は陸軍部隊の戰鬪に協力  
を擊退す  
一、仙姑山方面に陸軍部隊を揚陸、匪賊  
の部は沙洲に戰隊を揚陸、匪賊  
航空部隊は陸軍部隊の戰鬪に協力  
萬家埠附近の敵陣地及び爾羅湖北  
東に渡河せんとする敵密集部隊を  
銃撃隊は航空部隊の收む敵兵十數名  
又南支航空部隊は汕頭、潮  
隆に於て道路破壊の一部隊は汕頭、潮  
を方撃し、他隊は汕頭、潮  
州方面を偵察攻撃す、且他の大部  
隊は廉州城内外を爆撃し、且他の大部  
隊は廉州城内外を爆撃し、且他の大部  
貨物掃蕩隊は協力を與ふ

江上艦艇の一部は武穴水道に進出

中支—萬家埠及  
び爾羅湖附近  
南支—萬寧方面  
汕頭、潮州方面  
面、廉城、大  
林市附近

三、二七

陸軍部隊の龍坪掃蕩に協力、又陸  
戰隊を偵察掃蕩す、又鄱陽湖方面  
間部隊は水路の啓開を續行す  
戰隊は水路の啓開を續行す  
珠江部隊は協力を與ふ  
容奇作戦に協力を與ふ  
西江に達す

處分機雷 五  
陸軍南昌占領 五  
鹵獲品  
小銃 一  
ダム 一  
ダム 一  
鹵獲品  
小銃 一  
手榴彈 五  
土砲 二  
處分機雷 五

三、二八

芝罘陸隊は治安隊と共に附近山  
地に據る約二百の敵を包圍攻撃し  
て大損害を與ふ  
鄒陽方面に戰隊は北崗山を攻  
し、更に南方に戰艦を發見す、昌  
完全北方に於て天候を逆し、江  
街北方に於て天候を逆し、江  
航空部隊は悪候を逆し、江  
戦に協力を與ふ  
交通機關等は爆撃隊の作戦に協力  
他の一部隊は陸戦隊の作戦に協力  
南支航空部隊は陸軍部隊の龍雲掃  
蕩戦に協力を與ふ、廉州  
城内外を爆撃して他隊の容奇作  
戦に協力を與ふ

處分機雷 五  
陸軍南昌占領 五  
鹵獲品  
小銃 一  
手榴彈 五  
土砲 二  
處分機雷 五

中支—浙贛線  
南支—龍雲、  
閩嶺、廉州、南



四、一	三、三二	三、三〇
鄱陽湖方面は成功す 航空部隊は南寧その他軍事施設を爆撃す	多他の航空部隊は海内及び貴州を攻撃す 航空部隊は容奇方面の水路を確保す 珠江部隊は容奇方面の水路を確保す 沙湾部隊は海内及び貴州を攻撃す 航空部隊は海内及び貴州を攻撃す	警備舟艇及び柳港鎮警備砲艇は夫 夫殘敵を掃蕩す 航空部隊は甲子山(安定の南東一 四の)を攻撃し大損害を與へ、又 他部隊は陸軍部隊の安定南方掃 蕩戦や珠江部隊の戦闘に協力を 感恩方面を爆撃して多大の戦果を 收む
處分機雷 一五	新南群島を臺灣 總督府の管轄に 屬す	機雷處分 一五
南支、揚美壩、嶺	南支、嶺南、南門、 嶺南、楓木、 嶺南、楓木、 嶺南、楓木、	南支、甲子山、嶺南、樂羅

	三、二九	
鄱陽湖方面は成功す 航空部隊は南寧その他軍事施設を爆撃す	航空部隊は海内及び貴州を攻撃す 航空部隊は容奇方面の水路を確保す 珠江部隊は容奇方面の水路を確保す 沙湾部隊は海内及び貴州を攻撃す 航空部隊は海内及び貴州を攻撃す	一隻を爆破す 順江部隊より一部は陸軍部隊に協力 順江部隊より一部は陸軍部隊に協力 順江部隊より一部は陸軍部隊に協力
處分機雷 一五	新南群島を臺灣 總督府の管轄に 屬す	機雷處分 一五
南支、嶺南、樂羅	南支、嶺南、南門、 嶺南、楓木、 嶺南、楓木、 嶺南、楓木、	南支、甲子山、嶺南、樂羅



<p>四、 一</p> <p>航空部隊は北支の殘敵部隊を爆撃し、又他の一部隊は南支陸軍部隊の作戦に協力すると共に敵軍事施設を爆撃す</p> <p>鄱陽湖方面作戦部隊は水路啓開を完成し、南昌に進入す</p> <p>航空部隊は陸軍部隊に協力して中支の敵據點を爆撃す</p>	<p>四、 三</p> <p>艦載機隊は東甚臺方自駒鎮より南支の敵砲艇(約二〇〇噸)並に神門口に於て軍需品荷役中の敵軍用舟艇群を爆撃す</p> <p>又中支の航空部隊は衝陽敵軍事施設を襲ふて大損害を與へ、他の一部は長沙の軍事施設や南昌以東の交通機關等を爆破す</p>	<p>四、 四</p> <p>江上艦艇の一部は詔安灣に於て英國商船より荷役中の軍用發動汽船二隻を拿捕、敵正規兵を捕虜とし、武器彈藥を押収す</p> <p>航空部隊は北支の敵據點並に中支の敵密部隊及び軍事施設を爆撃し、南昌方面の一部隊は陸軍部隊に協力す</p>	<p>四、 五</p> <p>航空部隊は北支の敵據點並に中支の敵密部隊及び軍事施設を爆撃し、南昌方面の一部隊は陸軍部隊に協力す</p> <p>を攻撃して大損害を與ふ</p>	<p>四、 六</p> <p>偵察隊は浙贛線交通機關及び他の一部隊は柳州飛行場を襲ひ、更に南支に於て大損害を與へ、又南支の鐵橋を爆破す</p> <p>内、南支の倉庫群を一部は柳州に於て又南支の鐵橋を爆破す</p>	<p>四、 七</p> <p>航空部隊は北支及び中支の敵軍事施設を攻撃し、又南支では珠江部隊の作戦に協力す</p>	<p>四、 八</p> <p>航空部隊は北支及び中支の敵軍事施設を攻撃し、又南支では珠江部隊の作戦に協力す</p> <p>格納庫一棟を大破させ、他の一隊</p>
			<p>俘虜 小銃 彈藥</p>	<p>五 〇二一</p>		
<p>北支—萊州附近 南支—贛門、嶺口、甲子市</p>	<p>北支—鹽城附近 中支—湯家牌、新橋、黃沙街</p>	<p>北支—東臺北方 中支—衝陽、長沙</p>	<p>北支—東臺 中支—隨縣、南</p>	<p>中支—東臺 北支—隨縣、南</p>	<p>中支—衝陽、玉山、浙 南支—安兩、柳州飛行場</p>	<p>北支—平度、東方 中支—芷江、飛行場、吉安、浙 南支—龍州、潭</p>
						<p>地上機損害 炎上一五、 爆破二〇、 擊墜四、不 確實二</p>



四、一四	四、一三	<p>力、橋頭市敵本部を爆撃大損害を 與ふ</p> <p>江上艦艇の一部は破城鎮に於て陸 軍部隊と協力同地を占領、又他の 一部は救濟洲北方大箭山及び附近 江岸に據る敵を攻撃、更に陸戦隊 を揚げて之を撃攘す 航空部隊は鄱陽湖方面の敵據點、 軍需品倉庫等を攻撃して戦果を收 む、又南支に於ては蒙自飛行場を攻 撃敵の地上機を炎上又は破壊し、攻 撃大型輸送機を迫躡山腹に不時着せ しむ</p>	<p>機銃一、手榴彈 四〇、小銃拳銃 彈一〇〇〇</p>	<p>中支—鄱陽湖東 岸、走馬坂、 南陵、西岸、橋 宜昌、大通、 青陽、廉</p>	<p>敵機炎上四</p>
<p>江上艦艇の一部は濃霧に乘じ七里 燈臺附近に進出、廣遠、砲尾及び 損害を與ふ</p> <p>航空部隊は欽縣城を攻撃し多大の 陸協同潭州の北西に上陸、次いで水 に、江部隊の陸戦隊は艦艇掩護の下 珠、江部隊の北西に上陸、次いで水 收す</p> <p>の遊撃隊約三十名と交戦之を撃攘 し、捕虜二名の外、武器彈藥を押 し、捕虜二名の外、武器彈藥を押 し、捕虜二名の外、武器彈藥を押</p>	<p>江上艦艇の一部は濃霧に乘じ七里 燈臺附近に進出、廣遠、砲尾及び 損害を與ふ</p> <p>航空部隊は欽縣城を攻撃し多大の 陸協同潭州の北西に上陸、次いで水 に、江部隊の陸戦隊は艦艇掩護の下 珠、江部隊の北西に上陸、次いで水 收す</p> <p>の遊撃隊約三十名と交戦之を撃攘 し、捕虜二名の外、武器彈藥を押 し、捕虜二名の外、武器彈藥を押</p>	<p>敵遺棄死體八、 鹵獲品小銃一七</p>	<p>南支—欽縣</p>		

四、一二	四、二	四、一〇	四、九
<p>澄邁方面陸軍部隊の掃蕩作戰に協 航空部隊は土來方面、他の一部は 名を斃す</p> <p>陽東方乳山口海岸を砲撃して敵五 の敵を掃蕩し、又艦艇の一部は海 連雲港陸戦部隊は南雲、臺山附近 て匪賊を掃蕩す</p>	<p>江上艦艇の一部は李搭匯を急襲し て匪賊を掃蕩す</p>	<p>航空部隊は悪天候を冒して浙贛線 その他、軍事施設を偵察攻撃大損 害を與へ、又南支に於ては珠江部 隊の戦闘に協力す</p>	<p>は兵器工場を有する海陽附近の敵 部、南支に於ては珠江部隊の作戰に 協力す</p> <p>珠江部隊は陸軍部隊の容奇江岸掃 蕩に協力、敵據點を砲撃して戦果 を收め、又掃海部隊は大角頭水道 の掃海を續行す</p> <p>連雲港陸戦部隊は歸順匪賊四十名 を武装解除す</p> <p>江上艦艇の一部は吳城に於て浮流 機雷及び地雷を處分す</p> <p>航空部隊は悪天候を冒して浙贛線 その他、軍事施設を偵察攻撃大損 害を與へ、又南支に於ては珠江部 隊の戦闘に協力す</p>
<p>鹵獲品小銃一一</p>	<p>同 處分機雷 地雷 六五</p>	<p>鹵獲品小銃二五 處分機雷 地雷 六五</p>	<p>拘捉機雷 二</p>
<p>南支—海南島</p>		<p>中支—浙贛線、 東鄉、貴溪</p>	







四、 二七	四、 二六	四、 二五	四、 二四	四、 二三
江上艦艇は吳城、甯洲及び石灰窰處分機雷一八 軍附近にて機雷を處分す 航空部隊は中支方面の敵飛行場 及び軍事施設並に汕頭江岸軍需倉庫を爆破す	江上部隊は航空部隊及び陸軍部隊と協力して南昌附近に來襲を企圖せし、敵約五百を撃退す 航空部隊は中支方面の敵軍事施設を攻撃し、他の一隊は珠江部隊作戦に協力す	航空部隊は福州方面の攻撃に協力す 又甌江方面の攻撃に協力す	航空部隊は温州方面の敵軍事施設を猛爆す	建甌飛行場を、他の一部は金華市内の兵營を爆撃し、又南支に於ては甌江攻撃部隊偵察に協力すると共に温州方面を偵察し、他の一部は厦門島對岸及び海南島方面を爆撃す
處分機雷				
南支—汕頭附近 中支—漳州、廈門、長門砲臺	南支—漳州、厦門、長門砲臺 中支—鎮海、寧波、宏遠砲臺、溫州、甌江方面	南支—福州、金門、七里街砲臺	南支—温州附近	南支—浙贛線、厦門、溫州、甌江附近

四、 二二	四、 二二	四、 二二
江上艦艇の一部は岳陽及び城陵磯處分機雷七 ○噸を押し出す 航空部隊は北支の敵部落を爆撃し、又芷江の軍事施設を攻撃して潰滅的打撃を與へ、歸途芷江を中心し傳單約十萬枚を散布し、南支では厦門及び海南島方面の敵軍事施設を爆撃す 海南島陸戰隊陵水市占領	江上艦艇の一部は前日に引續き陸軍部隊の新橋河方面攻撃に協力す 一部は甌州及び半壁山にて機雷を處分す 航空部隊は中支の敵各飛行場及び軍事施設を攻撃大損害を與ふ 南支江上艦艇の一部は甌江、北江、敵陣地を砲撃大損害を與へ、珠江部隊は本日を以て大角頭島水道及び潭州機雷堰掃海を完了す 臨洪口の閉塞線沈船全部を爆破除去す 航空部隊は高安縣城附近陣地並に	敵遺棄死體約五〇 南支—福州、金門島對岸、陵水 北支—平度、東方 中支—芷江
處分機雷	處分機雷	處分機雷
八	八	八
中支—高安縣、	中支—內鄉、麗水、衢縣、貴溪、玉山、衡陽、寧波、海門、溫州	南支—福州、金門島對岸、陵水



五、 五	五、 四	五、 三	五、 二
江上部隊は安慶、南昌附近の敵襲を撃退す。航空部隊は南昌附近にて陸軍部隊に協力、敵を攻撃す。江上部隊艦艇は所在陸軍部隊と協力、安慶及び鄱陽湖方面の敵を掃	航空部隊は重慶を空襲大損害を與へ、爆撃後敵機四機と交戦之を撃退す。又他の一隊は中南支方面の敵據點その他を爆撃す。	航空部隊は大舉重慶を爆撃、敵機約三十機と空中戦を演じて其の約十機を撃墜、我方の二機敵死の爲火災を起し自爆壯烈なる戦死を遂ぐ。	び軍事施設を攻撃大損害を與ふ
處分機雷 一			
南支—汕頭、泉州	南支—汕頭、潮州 面—泉州	北支—鹽城 中支—重慶、吉安、玉山、兩飛、行場、新村墟、金華、南昌方	南支—福州附近 中支—重慶、奉新、南方、荏港、大王廟、新村墟、萬舍街、紹興、福州
			敵機擊墜約一〇機以上

五、 一	四、 三〇	四、 二九	四、 二八
航空部隊は中南支方面の敵據點、軍事施設を攻撃大損害を與ふ。	航空部隊は大舉して寶慶の軍事施設その他を爆撃し、又艦載機隊は海南島敵遊撃隊の據點を攻撃大火災を起さしむ。	航空部隊は中南支方面の敵據點及び軍事施設を攻撃す。	航空部隊は陸軍部隊と協力、撫河西方の敵陣地を攻撃し、又南支方面の軍事施設を爆撃し、臺州下流に於ては敵軍用汽船泰安を撃沈す。
陸戦隊を鼓浪嶼に上陸せしめ自衛權發動を聲明す。			
中支—西村、汪村(高郵市北)	中支—棠飽、三陽、東鄉及び豐城、兩縣城、寧波	中支—寶慶、幽寧、辰谿、青山湖、蘭、青	中支—撫河、羅溪、進賢、李河、寶、高安、宜、寧、波、州、福州、溫
南支—福州附近	南支—樂安	南支—臺州、黃、海門、溫、巖、瑞安	南支—南昌、新、村墟



五、 一、 二	五、 一、 一	五、 一、 〇	五、 九
航空部隊重慶夜間爆撃決行江北軍 他施設一部隊は中南支方面の敵軍事 施設を爆撃して多大の戦果を収む	艦載機隊は萊陽附近の敵據點を爆 撃し大損害を與ふ	海南島陸戦部隊は陵水附近の敵據 點を急襲す 敵軍事施設を爆撃し、他の一隊は 陸軍部隊の嶺門作戦に協力す	柳港鎮方面の江上艦艇は新五庫下 流の敵を急襲撃す 航空部隊は北支及び中南支方面の 敵據點に軍事施設を爆撃す
		敵遺棄死體 鹵獲品 小銃 彈藥包 一一 八〇八	敵遺棄死體 鹵獲品 銃 二
中支—重慶、寧波、漳州、抗 陽、漳州、海 南支—高嶼、海 靖、保營、雷 里、遂溪 南島、遂溪 州半島	北支—萊陽附近	中支—萊陽附近 北支—涂翼、松 湖街、大平關 汀露、飛行場 寧波、鎮海砲 臺	中支—三江口、進賢、 羅平、石澗、 大平關、揚家山附 舖、寧波、泉 近、永安、島、 州、廈門、嶺門、 徐聞、嶺門、 南濼方面
敵機擊墜一			

五、 八	五、 七	五、 六
江上艦艇は航空部隊と共に陸軍部 隊に協力し、陸軍の臺山占領に揚 家山攻略を完成せしむ 航空部隊は陸軍部隊に協力、湖口 及び南昌方面の敵據點を爆撃して 多大の戦果を収め、又海南島敵據 點を爆撃し、且つ陸軍部隊の嶺門 攻略戦に協力す	航空部隊は中支方面の敵軍事施設 飛行場の兵營等に大打撃を與へ、 又他の一隊は南支方面の敵軍事施 設を攻撃す 海南島陸戦部隊は陵水の南西部落 を掃蕩し十數名を捕虜とす	航空部隊は南支方面の敵軍事施設 を爆破し、他の一隊は海南島陵水 方面陸戦部隊の戦闘に協力す 陸戦部隊海南島九所附近黄流市占 領
	敵遺棄死體 一六四	處分機雷 一
北支—靈山街附 近	中支—襄陽、西 陽、西安、南 昌	南支—汕頭、潮 州、陵水、海 南島
一機		



五、 一九	五、 一八	五、 一七	五、 一六	五、 一五
砲火の爲め敵陣に突入自爆す	艦載機隊は南支方面の敵軍事施設を爆撃す	航空部隊は陸軍部隊の大平關附近及び南昌方面の掃蕩戦に協力す	航空部隊は中支方面の敵據點を爆撃して大損害を與へ、又軍用汽艇一隻を粉砕す 海南島新英派遣陸戦部隊は海頭港新英の南西方に上陸これを占領す	航空部隊は北支及び中支方面の敵飛行場及び軍事施設を爆撃す
		鼓浪嶼に英米佛陸戦隊上陸		
南支—遂溪	北支—芝罘附近 陽、福州、馬尾 電、白港、東方	南支—汕頭、湖 尾、銅山營	中支—大平關、 新、村、墟、王、家 嶼、吾、貫	南支—石尾、嵩 嶼、永安、萬 寧、樂安、萬
一機				

五、 一四	五、 一三
青島航空部隊は陸軍部隊に協力、棲家縣城外の敵を攻撃す 航空部隊は中支一帯の敵據點、軍事施設等を爆撃して大損害を與ふ	芝罘陸戦部隊及び治安隊は附近高地の敵約三百を撃攘す 海軍陸戦部隊の連雲港方面警備を陸軍部隊に引繼ぐ 航空部隊は中支の玉山飛行場攻撃滑走路を大破し、又南支の敵據點及び軍事施設を爆撃す
	敵遺棄死體七〇 鹵獲品 小銃 手榴彈 三〇八
北支—棲家縣城 中支—寧波、紹 興、漳州、樂 安、萬寧、海 門、砲臺、那 大、汕、潭 頭、潮州、江 江、臺、山	北支—威海衛附 中支—玉山飛行 場、漳州、萬 南支—漳、美、保 停、營、萬、省、海 樂、安、南、豐、島 陽、光、遂、溪、島



五、二八	五、二七	五、二六	五、二五	五、二四
航空部隊は南支方面を偵察攻撃し又閩江にて敵軍用汽艇一隻を撃沈す	航空部隊は海南島掃蕩戦に協力、他の一隊は敵軍用舟艇を攻撃す	航空部隊は陸軍部隊の新村墟方面作戦に協力、又中南支方面を爆撃す	航空部隊は重慶及び廣陽壩飛行場を爆撃して軍事施設に潰滅的損害を與へ、重慶にては敵戦闘機四機を空中戦を演じて其の一機を撃墜し、又廣陽壩飛行場に對しては前後二回に亘り夜間攻撃を實施す又北支、中南支方面を攻撃す	航空部隊は南支方面の敵飛行場並に敵據點を爆撃大損害を與ふ
南支、福州、興化、泉州	南支、西江、千家、潭	南支、新村墟、集美、福州	南支、鎮海、興化、溫泉、圭嶼、海門、州、州	南支、龍巖飛行場、淇澳、汕頭、陽、昌江、(海南島)
			敵機撃墜一機	

五、二〇	五、二二	五、二三	五、二三
航空部隊は支那各地の敵陣地及び軍事施設を爆撃す	航空部隊は陸軍部隊に協力して中南支方面の敵據點その他を爆撃す	陸戦隊岱山島を攻略す航空部隊は陸軍部隊に協力、荻港及び新村墟附近の敵を偵察攻撃し他の一隊は鎮海對岸の兵營を爆撃す又他の一隊は南支方面の敵據點を爆撃す	航空部隊は南支方面の敵據點及び軍事施設を爆撃大損害を與ふ
		鹵獲品 小銃 四 同彈藥五〇〇 (高亭鎮) 小銃 四 同彈藥九〇〇	獨伊同盟成立
北支、福山樓、霞間、葛家集、馮家集(文登の西南)	中支、遂溪、厦門、鼓浪嶼、北海、福州	中支、繁昌、新支、村墟、撫州、高郵市、鎮海、南支、厦門附近、溫州、昌江、北支、陵水	南支、泉州、永春、溫州、黃華、村兵營、淇澳、島對岸







<p>航空部隊は石臼所方面の敵陣地を爆撃し、又中支方面では敵兵營を</p>	<p>六、一 航空部隊は成都第一、二次攻撃、重慶</p>	<p>六、一〇 航空部隊は、陸軍に協力し、又陸軍部隊は</p>	<p>六、九 航空部隊は、陸軍に協力し、又陸軍部隊は</p>	<p>六、八 航空部隊は、陸軍に協力し、又陸軍部隊は</p>	<p>六、七 航空部隊は、陸軍に協力し、又陸軍部隊は</p>	<p>六、六 航空部隊は、陸軍に協力し、又陸軍部隊は</p>
<p>中支—餘姚、吉安、泰和、吉</p>	<p>中支—麻伍市、近海、宏遠砲臺</p>	<p>中支—麻伍市、近海、宏遠砲臺</p>	<p>中支—麻伍市、近海、宏遠砲臺</p>	<p>中支—麻伍市、近海、宏遠砲臺</p>	<p>中支—麻伍市、近海、宏遠砲臺</p>	<p>中支—麻伍市、近海、宏遠砲臺</p>
<p>實墜(三機確)</p>	<p>敵機成都に</p>	<p>敵機成都に</p>	<p>敵機成都に</p>	<p>敵機成都に</p>	<p>敵機成都に</p>	<p>敵機成都に</p>







六、一八	珠江部隊は南明島に陸戦隊を揚げ敵を掃蕩す	鹵獲品砲三、小銃、拳銃各二	
六、一九	漢水方面艦艇は陸軍部隊と協力、分水嘴上流江岸襲撃を撃退す、航空部隊は紹興市内の軍事施設を爆破す、珠江部隊南明島陸戦部隊は島内の掃蕩を續行す	鹵獲品小銃、拳銃各五、手榴彈二、彈藥若干	
六、二〇	江上艦艇の一隻は陸軍部隊と連絡して荻港上流汪洋廟、廣澗の敵陣地を砲撃制壓す、陸戦隊は江岸掃蕩中機銃を有する約四五〇名の敵正規兵と交戦約一時間にして之を撃攘す、厦門部隊は大嶼を占領、敵のトーチカ及び兵舎を爆破す、三竈島掃蕩部隊は約一ヶ月に亘る同島の掃蕩を終る、航空部隊は海南島方面の敵據點を爆破す	敵遺棄死體一一、鹵獲品小銃三〇、拳銃五、砲八、青龍刀、槍若干	南支—興寧、梅縣、潮汕、樂安、陸豐、安(海南島)
六、二二	伐す海陸軍協同汕頭を攻略す、陸戦隊は飛行機と協力して嶼、鹿嶼、馬嶼を占領す、航空部隊は大舉して汕頭作戦に協力す、敵軍事施設及び埼碌砲臺を爆破す	機雷八個拘捉機雷衛所四ヶ所破壊	南支—埼碌砲臺
六、二三	飛行機隊は象山方面を偵察敵據點を爆撃す、又他の一部は陸軍部隊に協力して新村墟南方の敵據點を攻撃す		中支—象山、新村墟
六、二三	艦艇の一部は赤壁にて残敵を撃攘し、舟艇の一部は新州附近の湖對岸の敵砲兵陣地を反撃制壓す、聯合陸戦隊は艦艇及び飛行機隊と協力して沈家門に上陸、舟山島を攻略す	敵遺棄死體六六	中支—舟山島
六、二三	汕頭の掃海部隊は鹿嶼水道の管制機雷八個處分		南支—潮汕地方、長汀、鋪前、林吾



約八を銃爆撃す

六、二四

航空部隊は鎮海砲臺及び軍事施設  
等を爆撃し、鎮海方面に於ては敵の  
倉庫、軍用舟艇、その他軍事施設  
を爆撃し、大損害を與ふ

敵遺棄死體一、  
鹵獲品手榴彈一

中支、常德、雲都、撫建、  
陰、南、奉、新、贛、龍、皇、水、  
昌、南、新、贛、龍、皇、水、  
州、奉、新、贛、龍、皇、水、  
支、南、奉、新、贛、龍、皇、水、  
口、龍、皇、水、  
口、龍、皇、水、  
口、龍、皇、水、

六、二五

威海衛陸戰隊は鹿島口に來襲の敵  
艦隊を撃退す  
敵艦隊は日、響、灌、河、上、流、附、近、で  
又、鎮、海、砲、臺、掃、蕩、戰、に、協、力、を、與、ふ、  
は、鎮、海、砲、臺、兵、營、等、を、爆、撃、し、大、損、害、を、  
を、與、へ、南、支、に、於、て、は、敵、據、點、及、び、  
軍事施設を、他の一部は、海南島  
感恩を爆撃す

敵遺棄死體一、  
鹵獲品手榴彈一

北支、日、响、  
中支、舟、山、鳥、  
南支、南、雄、南、  
安、汀、州、  
順、梅、縣、感、  
恩、(海、南、島)、  
麗、水、建、甯、  
鎮、海、

六、二六

航空部隊は鎮海砲臺及び附近軍事  
施設を攻撃し、又南支に於ては陸  
軍部隊の潮州略に協力す  
西、四、の、附、近、の、陸、上、戰、闘、に、協、力、す、  
多、大、の、戰、果、を、收、む

南支、潮州、  
隍、豐、順、方、面、  
南支、潮州、  
隍、豐、順、方、面、

六、二七

温州、福州、閉塞戰開始  
陸戰隊一部は、温、州、頭、島、に、揚、陸、  
同、島、を、占、領、し、他、の、一、部、隊、は、玉、環、  
坎、門、港、附、近、に、上、陸、し、同、地、を、占、領、  
塞、後、艦、隊、及、び、飛、行、機、協、力、の、下、に、  
島、を、占、領、す、  
航空部隊は、福、州、金、門、附、近、の、砲、臺、  
及、び、砲、艦、を、爆、撃、し、大、損、害、を、與、へ、  
他、の、飛、行、機、は、昨、日、以、來、陸、軍、部、隊、の、  
潮州略に協力して敵の據點を爆

敵遺棄死體二〇、  
鹵獲品小銃四、  
手榴彈二

南支、福州

六、二八

飛行機隊及び艦艇は、裡島附近の敵  
據點を爆撃す  
據支方面の航空部隊は二隊に分れ  
中支、奉、節、鎮、海、砲、臺、を、爆、撃、す、  
奉、節、鎮、海、砲、臺、を、爆、撃、す、  
海、南、島、砲、臺、を、爆、撃、す、  
又、一、部、隊、は、潭、門、の、敵、本、據、を、燒、却、す、  
又、一、部、隊、は、陸、軍、部、隊、に、協、力、す、  
及、興、寧、附、近、を、爆、撃、し、大、損、害、を、與、ふ、  
舟、山、島、陸、戰、隊、は、島、内、を、掃、蕩、し、て、大、  
西、灣、に、到、着、す、  
江、上、艦、艇、及、び、陸、戰、隊、は、揚、子、江、新、靈、  
甸、港、の、敵、據、點、及、び、荻、港、對、岸、の、敵、部、

敵遺棄死體六、  
鹵獲品  
俘虜一、  
小銃四

中支、奉、節、鎮、  
海、砲、臺、  
南支、潮州、  
寧、及、び、樂、安、



七、 四	七、 三	七、 二	七、 一
江上艦艇の一部は新鴻興に於ける敵艦永績の引卸作業に成功す、航空部隊は中南支方面の敵據點を爆撃す	航空部隊は陸軍作戦に協力し、羅漢市附近及撫河東岸の敵陣地を爆撃し、又南支方面の敵兵營及據點を爆撃す	航空部隊は海門港及福州南方の敵據點を爆撃す	航空部隊は海門港及福州南方の敵據點を爆撃す
	敵遺棄死體六四		捕虜 敵遺棄死體三一 八一
中支—南瀝、泰安、三都澳、福安、南辰、新安、樂安、北	中支—羅溪、荏港、福州、沙縣、延平、大成、新英南方、興寧、東北部	南支—定海、海	中支—海門、福州

六、 三〇	六、 二九
航空部隊は海門港及福州南方の敵據點を爆撃す	航空部隊は海門港及福州南方の敵據點を爆撃す
沈家門自治委員 會發會式	
中支—梁山、梅	中支—南陽、周、鄉、飛行場、白、鎮、海、及、砲、臺、南、支、山、砲、臺、熨、斗、島







七、一五	七、一四	七、一三
<p>協空部隊は南昌方面の陸軍作戦に協力し、敵陣地等を偵察攻撃す</p>	<p>航空部隊は建甌、建昌方面の敵の交通路及び據點を偵察攻撃す</p>	<p>揚子江部隊の新鴻方面艦艇は君山沖に進入し、聯合艦隊に砲撃す</p>
	<p>敵遺棄死體九三七 捕虜 鹵獲品 小銃 拳銃 其の他 薬包等</p>	<p>敵遺棄死體三〇 鹵獲品 機銃 一</p>
<p>中支—南昌方面 高、萬、寧、東 汕頭附近</p>		<p>中支—浙贛線 南支—福州、漳州、廈門、汕頭、海門</p>

七、一二	七、一一
<p>航空部隊は中南支方面の敵軍施設を爆破炎上せしめ、大打撃を與ふ</p>	<p>海上艦艇及び陸隊は、螺州門を襲撃す</p>
<p>敵遺棄死體七 中支—巴東、巫山、浙贛線、南昌附近</p>	<p>敵遺棄死體二〇 處分機雷 一二二</p>
<p>南支—延平、福州、銅山、川石</p>	<p>中支—河口鎮、賽塘 南支—金牌門砲臺</p>



七、一六	艦載機威海衛附近の敵據點爆撃 海軍部隊北黎港攻略開始、陸戦 部隊は三亞より感恩に進撃す		北支—威海衛附 近
七、一七	舟山叢島一帯の攻略並に掃蕩戦完了 航空部隊は陸軍部隊に協力、新村 墟南方の敵據點を攻撃し、他の一 部隊は海南島部隊の北黎攻略に協 力敵據點を爆撃す	海南島新政府成立 崖臨時政府成立	中支—新村墟附 近 南支—北黎
七、一八	去る十六日以来北黎に向ひ進撃續 行中の海南島陸戦部隊は、十八日 北黎一帯を占領、海上部隊と連絡 を遂ぐ		南支—北黎、汕 尾
七、一九	航空部隊は北支、中支方面の敵據 點を爆撃す		北支—威海衛附 近 中支—玉山、吉 安、贛州
七、二〇	航空部隊の一部は陸軍作戦に協力 南昌方面の敵を制壓す 汕尾閉塞開始、陸戦部隊は艦艇及 び航空部隊の掩護の下に汕尾對岸		北支—威海衛附 近 中支—南昌方面

七、二一	閉塞部隊は艦艇派出の陸戦隊を興 化灣江日島に揚陸、同島を占領す ると共に艦艇は興化、南日兩水道 を閉塞す	天皇陛下聯合艦 隊へ行幸	中支—南昌附近 南支—宜山、龍 州鎮、南寧、 鎮南關、校利 寧明
七、二二	善坊街(南昌東方)の敵據點を爆 撃し、又南支方面の敵軍事施設を 爆撃多大の損害を與ふ		
七、二三	閉塞部隊の艦艇は飛行機掩護の下 に三都澳の閉塞を完了す 航空部隊は中支方面の敵軍事施 設及び軍需品倉庫等を爆撃す		中支—南昌附近 南支—柳州、南 寧、鎮南關
七、二四	航空部隊は中南支方面の敵軍事施 設を攻撃す 閉塞部隊の艦艇は飛行機掩護の下 に羅源及び沙埕の閉塞を完了す 珠江部隊横門水路の啓開作戦開始 航空部隊は第九回重慶爆撃を實施 し敵戦闘機五機と交戦二ヶ所を炎		中支—重慶、豐 城、樟樹鎮 南支—羅源、沙 埕



七、二七	七、二八	七、二九	七、三〇
航空部隊は北支、中南支方面の敵據點及び軍事施設を爆撃、敵の一部は五ヶ所を炎上せしむ。敵の部隊は協力をし、陸路開隊は多数の艦艇及び航空隊協力の下に附近の敵を撃退す。	航空部隊は中南支方面の敵據點を爆撃す。又他の一部は珠江部隊の協力をし、福州、金牌門砲臺を砲撃す。	航空部隊は中南支方面の敵據點を爆撃、他の一部は珠江部隊の協力をし、溪水路啓開隊の戦闘に協力す。	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃、他の一部は珠江部隊の協力をし、門西の敵旅團司令部を爆撃し、其の三棟を大破す。
敵遺棄死體 五七 處分機雷 五 敵遺棄死體 四〇 小銃 拳銃 各一	敵遺棄死體 一九 處分機雷 一		
北支—威海衛附近 中支—撫河東岸 南支—揭陽、湯坑、豐順、潮州、北海、博口、高州	中支—撫河東岸 南支—潮州北東	中支—進賢、海莊、胡子華 南支—興寧、潮州	中支—宜城、樟化、進賢、賓陽、樹鎮、賓陽、丁橋、墟、南寧、武鳴、石尾

七、二六	七、二五	七、二四
航空部隊は北支、南支方面の敵據點を爆撃し、他の一部は珠江部隊の戦闘に協力す。艦艇は横門に進出、陸路開隊は岐山、東麓に揚陸敵を撃退す。	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃す。海南島新英部隊は登頭村を奇襲、戦果を収む。	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃し、又南支方面の敵軍事施設を爆撃す。珠江部隊は横門作戦部隊は横門溪入口に於て沈船に依る閉塞線を發見、啓開し、陸戦隊は蟻洲に揚陸同島を掃蕩す。
敵遺棄死體 十數名 小銃 一 南支—南島、南支—南島、南支—南島	敵遺棄死體 十數名 小銃 一 南支—南島、南支—南島、南支—南島	敵遺棄死體 十數名 小銃 一 南支—南島、南支—南島、南支—南島
北支—海陽北西 南支—梧州、潮州	中支—巴東、歸州、巫山、撫河右岸、荏港、南支—南島、南支—南島	塔壁、通城南、東方、南支—汕頭、潮州、海南、島、金、南支—南島、南支—南島



<p>八、 六 航空部隊は海門附近の敵陣地を、</p>	<p>八、 五 航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を掃蕩す</p>	<p>八、 四 航空部隊は海門附近の敵陣地を掃蕩す</p>	<p>八、 三 航空部隊は海門附近の敵陣地を掃蕩す</p>
	<p>立東亞海運會社創</p>	<p>汕頭占領以來の</p>	
<p>南支—海門、崖</p>	<p>中支—建陽、鎮南關、潮州</p>	<p>南支—桂林、漳</p>	<p>中支—重慶、梁</p>

<p>八、 二 航空部隊は海門附近の敵陣地を掃蕩す</p>	<p>八、 一 航空部隊は海門附近の敵陣地を掃蕩す</p>	<p>七、 三 航空部隊は海門附近の敵陣地を掃蕩す</p>
<p>舟山、叢島聯合自</p>	<p>敵遺棄死體</p>	<p>敵機擊墜一</p>
<p>北支—江蘇省北</p>	<p>南支—鎮南關、</p>	<p>北支—威海衛附</p>



<p>八、一 航空部隊は中南支方面の敵據點を爆撃す</p>	<p>八、二 航空部隊は北支及び南支方面の敵艦艇を爆撃す 近の敵トーチカを砲撃破壊す</p>	<p>八、三 航空部隊は北支、中南支方面の敵の軍事施設を爆撃大損害を與へ、他の海南島陸戦部隊萬寧を占領す</p>	<p>八、四 航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃して多大の戦果を収む 萬寧攻略陸戦隊の一部は後安、和鹵獲品小銃</p>
<p>中支—奉化 南支—海口附近 南支—海澄、楓 古巷、漳州、石尾、馬港</p>	<p>北支—登州、大辛店、龍口 南支—漳州、石尾、馬港、金鑿、漳州、龍口</p>	<p>北支—登州、大辛店、龍口 中支—高信、南鄉、泰和、南</p>	<p>中支—贛江、水路、雙河口、進賢、前坊街 南支—柳州、潯州、大成市、興寧、隘隍</p>

<p>八、七 航空部隊は海門閉塞作業掩護竝に各地の敵據點及び軍事施設を爆撃す</p>	<p>八、八 航空部隊は江上艦艇及び陸軍部隊と呼应し南昌方面の掃蕩戦に協力す 又他の一部は中南支方面の敵據點を爆撃す</p>	<p>八、九 航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を攻撃し、他の一部は海門灣に設けられた汽艇一隻を撃沈し又盤石衛上流にて一隻を撃沈す 海門閉塞部隊は北方、中央、南方航路の閉塞を完了す 珠江南部の敵遊撃隊掃蕩開始、陸戦隊を以て附近一帯を掃蕩す 陸軍部隊と協力、西江本流壘石附近敵陣地を攻撃す</p>	<p>八、一〇 航空部隊は奉化を攻撃大損害を與ふ</p>
<p>縣、武鳴、田東墟、隘隍</p>	<p>北支—威海衛南 中支—鎮海、蟹浦鎮 南支—潮州、臺州、海門、廉州</p>	<p>北支—威海衛 中支—奉化、浙 南支—海門、青田、甌江、潮州</p>	<p>中支—奉化</p>



八、一五	航空部隊は中南支方面の敵據點及び軍用倉庫群等を爆撃す	潮州北西方、和樂、寧明、南寧
八、一六	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃す	中支—田尾附近、南支—英德、潯、龍州、保平、海、南島
八、一七	航空部隊は南支方面の偵察攻撃を實施し、敵の軍用倉庫群に大損害を與へ、他の一部は海南島陸戰隊の戰鬪に協力す	中支—慈谿、觀、海衛、南支—龍州、北海
八、一八	航空部隊は大舉して辰州軍事施設を爆撃し、敵の倉庫群八棟を破壊又は炎上せしめ、他の一部は雷州半島の偵察攻撃を實施す	中支—辰州、南支—烏石港、雷州、遂溪、石城、化縣
八、一九	航空部隊は中南支方面の軍事施設を攻撃し、他の一部は新會及び潮州方面の敵據點を爆撃大打撃を與ふ	中支—嘉定、南支—海晏、橋、保平、閉

樂兩市を占領す

銃劍四

八、二〇	潭州門水路啓開作戰開始 江門艦艇は陸軍部隊の睦州攻略に協力す	中支—廣信、撫河、南支—潭州水道、興寧、湯坑
八、二一	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を攻撃し、又他の一部は興寧附近に於て迷彩せる軍用自動車群を爆撃す	中支—廣信、麗水、南支—興寧、水口、杆、烏石港
八、二二	潭州門水路清掃、入口に於て障害物を處分し、又陸戰隊を以て江岸の敵を掃蕩す	中支—廣信、河口鎮、南支—鎮南關、憑祥、桃山
八、二三	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を攻撃し、他の一部は汕頭方面陸軍部隊の掃蕩戰に協力す	中支—廣信、河口鎮、南支—鎮南關、憑祥、桃山
八、二三	航空部隊は小龍坎の軍事施設を攻撃し、數ヶ所より火災を起させ敵機と交戦す	中支—小龍坎、南支—南寧、銅山、烏石港
八、二三	他の一部は南寧に於て敵軍需品倉庫	成立ノ不侵略條約



八、二九	八、三〇	八、三一	九、一
航空部隊は武鳴及び南寧を攻撃し、敵の軍用自動車、銃爆撃して其の七臺を粉碎し、又軍需品倉庫に大損害を與ふ	航空部隊は月明を利し大舉二回に亘り、白市驛及び敵飛行場の夜間攻撃を敢行、數ヶ所を炎上させ、又他の一部は南支の敵軍事施設を爆撃炎上せしむ	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃大損害を與ふ	航空部隊は大舉して梁山夜間攻撃を敢行、又一部は中南支方面の軍事施設を爆撃大損害を與ふ
			獨波兩國戰闘開始
南支、武鳴、南寧、五塘	中支、白市驛、宜昌、廣陽壩、飛行場、柳州、南寧、遷江、憑祥、鎮南關、中支、黃湖畔、香口鎮、南支、銅山、亭鄉	中支、梁山飛行場、廣陽壩飛行場、萬縣	南支、大乗墟、(柳州の南西)賓州、海南島(秀英、和樂)石城、大坎(昌江東方)
			阿部内閣成立

八、二四	八、二五	八、二六	八、二七	八、二八
航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を攻撃し、又他の一部は銅山、汕頭方面の敵據點を爆撃す	航空部隊は敵軍事施設を爆撃して兵營及び倉庫群を破壊又は炎上せしむ	航空部隊は南支方面の敵軍事施設を爆撃大打撃を與ふ	航空部隊は銅山作戰に協力、敵據點を爆撃、他の一部は龍門兵舎及び敵兵を攻撃多額の損害を與ふ	航空部隊は大舉して小龍坎の夜間攻撃を實施し軍事施設及び工業地帯に大損害を與へ、他の一部は南支方面の敵軍事施設を爆撃す
中支、麗水、銅山對岸、興寧、隘隍、湯坑	中支、甌江、廣信、南支、南寧、龍州	南支、龍州、樟林、南關、銅山島	南支、鳳翔市、龍門	中支、小龍坎、南支、宜山、龍州、烏石港、南寧、明江
				平沼内閣總辭職



九、二	航空部隊は南支方面の敵軍需品倉庫群を爆撃粉碎す	英米佛陸戰隊鼓浪嶼引揚	南支—貴縣、化縣、梅麓
九、三	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃す 珠江本流江岸掃蕩	英佛對獨宣戰	中支—小龍坎、奉節 南支—潯州、大坎、雷賓
九、四	航空部隊は南支の敵軍事施設を爆撃大損害を與ふ 銅山作戦完了（八月二十三日以來實施中のもの）		南支—柳州、賓州、南寧、貴縣、潮
九、五	航空部隊は陸軍部隊に協力、潮汕地方を偵察攻撃す		南支—潮汕
九、六	航空部隊は海南島北部及び潮汕地方その他の敵據點を攻撃大損害を與ふ 湄州浦を封鎖す		南支—海南島北部、古港、登塘街（潮州西方）
九、七	航空部隊は珠江部隊の横門作戦及び汕頭方面の陸軍部隊に協力敵陣地を攻撃す 横門溪沈船障害物啓開		南支—香山、潮州、株州、龍州

九、八	航空部隊は珠江部隊の横門作戦及び汕頭方面の陸軍部隊に協力敵陣地を攻撃す 横門溪沈船障害物啓開		南支—香山、潮州、株州、龍州
九、九	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃す 横門作戦進行、陸軍部隊を岐山東麓に強行揚陸、頑敵を撃退しつつ、水路を啓開す、又海壇島西岸突角の陣地を砲撃敵を撃退す		中支—贛江、吉安、蓮花、南支—橫門、大灣、澳門、港
九、一〇	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃大損害を與ふ 横門作戦を續行、陸軍部隊を以て江岸一帯を占領敵據點を砲撃水路を清掃す		中支—瀘州、南支—來鳳、貴
九、一一	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃し多大の戦果を收む 横門作戦を續行陸軍部隊を以て兩岸の敵を掃蕩す		中支—海門水道、塘埠、西頭、恩旆、南支—橫門、貴縣
九、一二	航空部隊は中南支方面の敵據點を攻撃し大打撃を與ふ		中支—橫門、貴縣



九、一六	九、一五	九、一四	九、一三	
航空部隊は北支、中南支方面の敵 據點竝に軍需品倉庫群を爆撃す	航空部隊は中南支方面の敵軍事施 設竝に軍用舟艇、倉庫群を爆撃す	航空部隊は南支方面の敵軍事施設 を爆撃す 横門溪水路清掃	航空部隊は中南支方面の敵據點竝 に軍需倉庫群を爆撃す 横門作戦を續行、陸戦隊は陸軍部 隊と協力、横門溪より石岐に通ず るクリク入口にて敵の管制機雷 所を發見す	
ノモハン事件停 戦協定成立		處分機雷 四	處分機雷 一	
北支—海陽、北方 中支—奉新、平 南支—憑祥、平	中支—白雲山 (德安附近) 南支—宜山、賓 州、龍州、石 山(海南島) 平南、關、潮 州、厦門附 近	南支—龍州、憑 祥、潮州西方、 龍溪、厦門附 近	中支—海門水道 北支—橫門、龍 州、憑祥、求 口、汕尾、潮 汕	內陸(廣東省) 老隆、潮州、 銅山、漳浦

九、二〇	九、一九	九、一八	九、一七	
航空部隊は中支方面の敵據點竝に 軍需品倉庫群等を爆撃大損害を與 ふ	航空部隊は北支、中南支方面の敵 據點を爆撃大損害を與ふ	航空部隊は北支、中南支方面の敵 陣地軍事施設を銃爆撃大損害を與 ふ	航空部隊は潮州西方の偵察攻撃を 實施し、敵據點及び機銃陣地に潰 滅的打撃を與ふ	
中支—海門水道 北支—泥湖、高 灰埠、上荒山 江口埠、荒山 鼓山、辰州、 辰谿	中支—德安、永 南支—興化、揭 陽、潮州、揭	北支—灌河、射 中支—高安、揭 南支—南寧、揭 陽、永安、興	北支—灌河、射 中支—高安、揭 南支—南寧、揭 陽、永安、興	面關、海南島 潮州西方







九、一六	航空部隊は興化の敵兵舎及び軍事施設を爆破し、他の一部は陸軍の修水方面作戦に協力す	中支—興化、修水方面
九、一七	航空部隊は中南支方面の敵據點を爆撃す	中支—石街、甘坊附近、南支—楓溪、古巷
九、二八	航空部隊は大舉重慶附近の敵航空基地に對し夜間空爆を敢行し、大損害を與ふ 又他の一部は南寧を攻撃敵倉庫群を粉碎す	中支—廣陽壩、奉節、南支—南寧、潮州
九、二九	航空部隊は支那各方面の敵飛行場及び軍事施設を爆撃大損害を與ふ	北支—海陽、龍口附近、中支—遂寧、廣陽壩、石街、我橋、南支—龍州、憑祥、潮州、南支—奉節、巫

九、三〇	航空部隊は支那各方面の敵飛行場軍事施設を攻撃大損害を與ふ	航空部隊は大舉して成都方面の空襲を敢行、濛氣を冒して各飛行場を爆撃し、地上照射銃、砲火を受け敵戰鬥機三機と交戦し、又他の一部は其の他の軍事施設を爆撃す	支那派遣軍總司令部南京に創設	南支—龍州、湯抗、面關、藤橋、隘、南支—恩施各飛行場、甘坊、平
一〇、一	航空部隊は宜賓飛行場の夜間攻撃を行ひ大損害を與へ、他の一部は中南支方面の敵據點を爆撃し、又一部は海陸軍の高郵作戦に協力す	敵遺棄死體 五八七 鹵獲品 三八一 小火艇 一一	北支—海陽、龍口附近、中支—宜賓、瀘州、石街、高郵、南支—高郵、潮州、陵	中支—成都方面、寧、鳳山、遂寧、太平寺、巴東、株州、我橋、甘坊、武穴、龍坪、南支—陵水、橫門
一〇、二	航空部隊は中支方面の敵機使用基地と覺し各飛行場を攻撃し、他		中支—三都、武寧、宜昌、恩施、來鳳、芷	



<p>航空部隊は中南支方面の敵飛行場及び軍用交通線その他を爆撃し、</p>	<p>八 入掃及中飛協航牟芝 陸軍山行力空平眾 舟軍陸作場敵部附陸眾 艇戰戰そ據隊はの部戰 を協隊の點は珠敵隊は 嚮力の軍爆江據點飛 導の水事擊部施の潰機 して啓設、又中山作 中隊攻一山部作戰 山迄は艦すは戰 縣を艦すは戰 進清艇敵に</p>	<p>七 陸路て水部南珠面面航 軍を三路隊方江の掃空 部清ヶ啓協に中敵蕩部 隊掃所開力上山據に隊 中すの隊の陸作點、力 山水是中に敵部軍、他 城障中江を隊の事施の 占害山岸擊の陸設一 領物下岸擊の陸設一 去流為掃し戰陸設一 し湮五滄つ隊爆擊は 近附す、は擊南支 水航空石疊す方</p>
	<p>敵遺棄死體 一〇一 手榴彈 一萬餘 土銃 一七〇 小銃 一三〇 迫撃砲 一五〇 地雷 一七〇 火藥 一七〇 重油 一七〇 若干自動車</p>	
<p>中支、湯、吉安、廣</p>	<p>南支、龍州、鎮南、關</p>	<p>北支、張家邊、西</p>

<p>六 航空部隊は中南支方面の敵飛行場を爆撃し、艦艇の一部は鰲江を閉塞す</p>	<p>五 航空部隊は中南支方面の敵飛行場その他を爆撃し、他の一部は陸軍部隊の掃蕩戦に協力す</p>	<p>四 航空部隊は中南支方面の敵飛行場その他を爆撃大損害を與ふ</p>	<p>三 の一部は小龍坎に對し夜間攻撃を決心、工場地帯に火災を起さしむ</p>
<p>中支、湯、吉安、廣</p>	<p>南支、龍州、鎮南、關</p>	<p>北支、張家邊、西</p>	<p>南支、龍州、鎮南、關</p>



一〇、一五	一〇、一四	一〇、一三
航空部隊は北支、中南支方面の敵飛行場及び軍事施設を攻撃し、敵機炎上 兵舎その他軍用倉庫群等を爆破 上せしむ	南澳島陸戦隊は龍門澳に上陸附近一帯を掃蕩す 航空部隊は湘桂線全縣及び宜山方面を攻撃敵の軍需倉庫群、軍用汽艇に大打撃を與ふ	航空部隊は北支、中南支方面の敵軍事施設、軍需倉庫群等を爆破大損害を與ふ
敵機炎上		
南支、寧明、潮汕、甲子港、龍	南支、靈山、貴縣、龍州、江寧、宜山、縣附、龍州、北支、射陽、埠寧、鹽城、南支、面、靈山、全	北支、龍口、中支、連水、川、梁、南、州、辰、都、南、南支、潮汕、北支、射陽、埠寧、鹽城、南支、面、靈山、全

一〇、一二	一〇、一一	一〇、一〇	一〇、九
航空部隊は南支方面の敵飛行場並に雷州半島及び汕頭方面の敵軍事施設を爆破大打撃を與ふ	航空部隊は中支方面の敵航空基地を攻撃し、又他の一部は熾烈なる敵の機銃火を冒して鎮南關倉庫十數棟を爆破す	航空部隊は中支軍事上の要衝を、他の一部は南支方面の敵航空基地を攻撃大損害を與ふ 中山作戰部隊は陸軍部隊の移動援助に任じ、張家邊附近の敵據點を砲撃陸戦隊は張家邊附近を攻撃す	他の一部は陸軍の湖南作戰に協力す
南支、寧明、潮汕、甲子港、龍	南支、靈山、貴縣、龍州、江寧、宜山、縣附、龍州、北支、射陽、埠寧、鹽城、南支、面、靈山、全	南支、靈山、貴縣、龍州、江寧、宜山、縣附、龍州、北支、射陽、埠寧、鹽城、南支、面、靈山、全	南支、靈山、貴縣、龍州、江寧、宜山、縣附、龍州、北支、射陽、埠寧、鹽城、南支、面、靈山、全
南支、寧明、潮汕、甲子港、龍	南支、靈山、貴縣、龍州、江寧、宜山、縣附、龍州、北支、射陽、埠寧、鹽城、南支、面、靈山、全	南支、靈山、貴縣、龍州、江寧、宜山、縣附、龍州、北支、射陽、埠寧、鹽城、南支、面、靈山、全	南支、靈山、貴縣、龍州、江寧、宜山、縣附、龍州、北支、射陽、埠寧、鹽城、南支、面、靈山、全



一〇、一六	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設、軍用舟艇群を爆撃大損害を與ふ		中支—黃梅領、將軍廟、吳家橋、周家、南支—龍州、太平、南關、憑祥、寧明、潮汕、平明、潮汕、附近
一〇、一七	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設、軍用倉庫群を攻撃す	鼓浪嶼租界問題	中支—芷江飛行場、南支—南寧、上金、麗江、南支—靈山、潮汕
一〇、一八	航空部隊は南支方面の敵の兵舎、據點を爆撃す		北支—招遠、南支—寶應、安慶、附近、潮汕
一〇、一九	航空部隊は北支、中南支方面の敵據點を爆撃す		中支—寶應、南支—北海
一〇、二〇	航空部隊は中南支方面の敵據點を爆撃す		南支—龍門、海口、北海、南支—平安、潯州
一〇、二二	航空部隊は南支方面の敵據點陣地を銃爆撃す		中支—奉節、靈山、遂寧、南陽、南支—海門、臺
一〇、二三	航空部隊は南支方面の敵兵舎、軍用倉庫群を爆撃す		中支—三門、港、南支—溫州、臺
一〇、二四	航空部隊は中南支方面の敵飛行場及び軍事施設を爆撃す		中支—寶應、辰州、附近、南支—溫州、沙
一〇、二五	航空部隊は中南支方面の敵軍用倉庫群を銃爆撃大損害を與ふ		中支—寶應、辰州、附近、南支—溫州、沙
一〇、二六	航空部隊は中南支方面の敵軍需倉庫群を攻撃す		中支—寶應、安慶、附近、南支—溫州、瑞



一一、 四	一一、 三	一一、 二	一一、 一
航空部隊は成都方面の敵航空基地の破壊を遂げ、我々の機を爆撃し、又他の艦隊を爆撃す	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃す	航空部隊は中支に於て敵の不時着機を捜索、監視、又中支方面の兵舎、倉庫群を爆撃し、又中支方面の兵舎、倉庫群を爆撃す	航空部隊は中南支方面の敵據點、軍需倉庫を爆撃す
南支、廣行、江、中支、門、白、陽、江、龍	南支、陽、場、北、電、白、海、州、飛、行、南	南支、陽、場、北、電、白、海、州、飛、行、南	南支、陽、場、北、電、白、海、州、飛、行、南
敵機爆破八		敵機爆破二	

一〇、二七	一〇、二八	一〇、二九	一〇、三〇	一〇、三一
航空部隊は中南支方面の敵據點並に軍需倉庫群、軍用舟艇群を爆撃大損害を與ふ	航空部隊は中南支方面の敵據點、軍需倉庫群を爆撃す	航空部隊は中南支方面の敵據點を攻撃、他の一部は軍用舟艇群、倉庫群を爆撃し、又中支に於て敵の不時着機を捜索、監視、又中支方面の兵舎、倉庫群を爆撃す	航空部隊は陸軍部隊に協力、中央方面の敵據點を攻撃す	航空部隊は中南支方面の敵據點及び飛行場等を攻撃大損害を與ふ
中支、前街、寶應、廟	中支、應、附、近、合、肥、寶	中支、應、附、近、合、肥、寶	中支、廣、德、香	中支、監、利、附、近



一一、 一六	一一、 一五	一一、 一四	一一、 一三	一一、 一二	一一、 一一	一一、 一〇	一一、 九
	航空部隊は北海方面魚洪江の上陸作戦に協力す	飛行機は芝罘陸戦部隊の萊山方面掃蕩戦に協力す		航空部隊は南支方面の敵據點、軍需倉庫を爆撃す	航空部隊は中南支方面の敵軍事施設を爆撃大損害を與ふ	航空部隊は高郵附近の敵據點及び龍州方面の軍用倉庫群を爆破す	
	南支—北海方面 (魚洪江)	北支—萊山方面		南支—高州、梅麓	中支—高郵、南	中支—高郵、武鳴、龍	

一一、 八	一一、 七	一一、 六	一一、 五
航空部隊は中南支方面の敵兵舎その他を爆撃す	航空部隊は中南支方面の敵兵舎その他軍事施設を爆撃大打撃を與ふ	航空部隊は中南支方面の敵飛行場兵舎等を爆撃大損害を與ふ	航空部隊は中南支方面の敵飛行場及び軍需倉庫群多數を爆破炎上せしむ
中支—美臺、加	中支—衡陽、零陵、香口鎮、龍	南支—桂林、飛行場、果德、龍	北支—芝罘、南方、香
			中支—祁陽、冷水、江



一一、二二	航空部隊は北海方面の陸軍作戰に協力、敵陣地を攻撃す	照國丸英國東海岸にて爆沈	南支—獅子口、武鳴、橫縣、飛行場、鬱江
一一、二〇	航空部隊は引き続き北海方面の陸軍作戰に協力、他の一部は敵據點、兵舎、塹壕を爆破炎上せしむ	廣東市公署成立	南支—南寧、太平、賓州、貴縣、欽州、冠頭角
一一、一九			南支—南寧、北海、大湊
一一、一八	航空部隊は悪天候を冒し陸軍部隊の北海附近作戰に協力す		中支—寶應、望直港、安豐鎮、南支—欽州
一一、一七	航空部隊は北海附近陸軍作戰に協力、敵艦艇を爆撃す、海軍艦艇は全力を擧げて陸軍部隊の龍門江、邕江の嚮導並に上陸掩護に任す		中支—吳城鎮、恩施、飛來、行場、南支—坊城、魚、洪江附近
一一、二三	航空部隊は陸軍部隊の南寧南東攻撃に策應して敵據點その他を攻撃、多大の戦果を収む		南支—南寧、南東、方
一一、二三	航空部隊は全力を擧げて陸軍部隊の南寧攻撃戦に協力、百餘飛行場を爆撃して大戦果を収め、又陸軍各部隊間の連絡に寄與す		南支—南寧、南東、方
一一、二四	航空部隊は引き続き陸軍部隊の南寧作戰に協力、多大の戦果を収む、陸軍部隊南寧占領		北支—大株、柳、南支—武鳴、都、安南飛行場
一一、二五	航空部隊は西安飛行場を爆撃、兵舎、燃料庫を攻撃、大損害を與ふ		中支—西安飛行場、彭澤附近

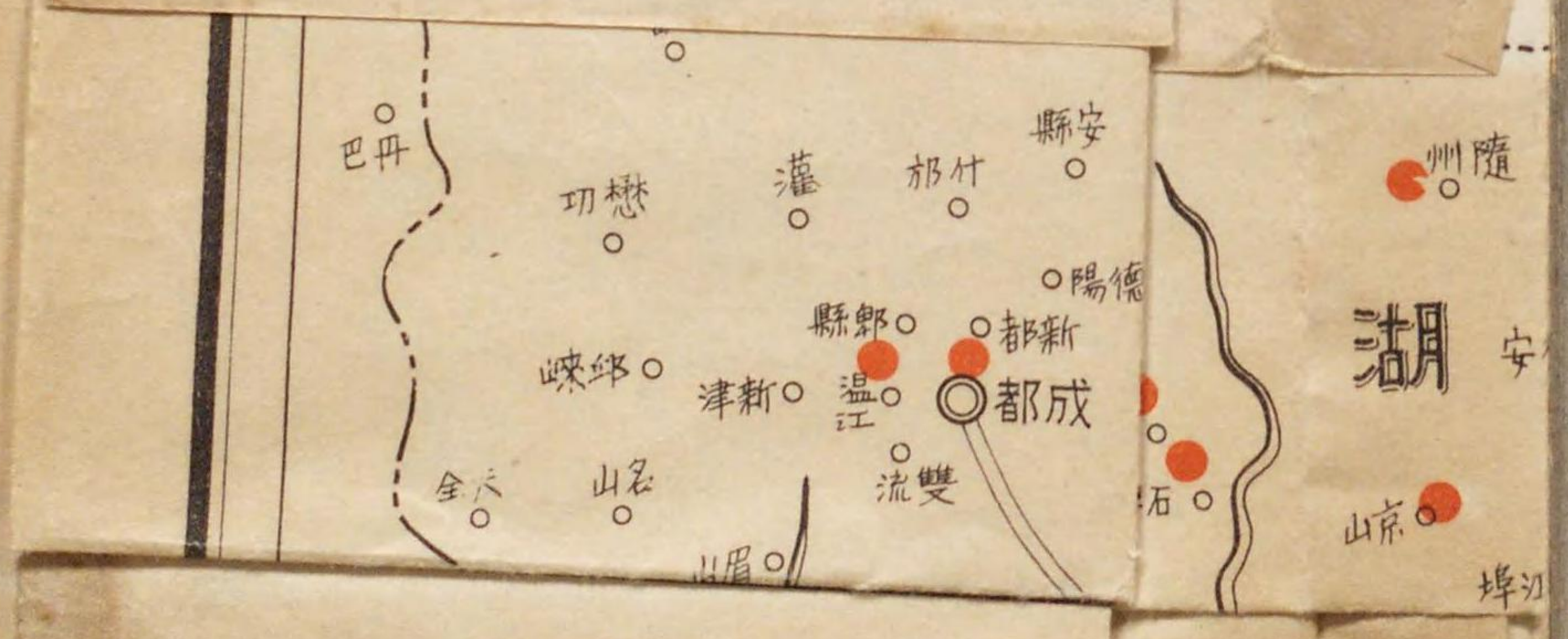
一一、二二	航空部隊は北海方面の陸軍作戰に協力、敵陣地を攻撃す	照國丸英國東海岸にて爆沈	南支—獅子口、武鳴、橫縣、飛行場、鬱江
一一、二〇	航空部隊は引き続き北海方面の陸軍作戰に協力、他の一部は敵據點、兵舎、塹壕を爆破炎上せしむ	廣東市公署成立	南支—南寧、太平、賓州、貴縣、欽州、冠頭角
一一、一九			南支—南寧、北海、大湊
一一、一八	航空部隊は悪天候を冒し陸軍部隊の北海附近作戰に協力す		中支—寶應、望直港、安豐鎮、南支—欽州
一一、一七	航空部隊は北海附近陸軍作戰に協力、敵艦艇を爆撃す、海軍艦艇は全力を擧げて陸軍部隊の龍門江、邕江の嚮導並に上陸掩護に任す		中支—吳城鎮、恩施、飛來、行場、南支—坊城、魚、洪江附近
一一、二三	航空部隊は陸軍部隊の南寧南東攻撃に策應して敵據點その他を攻撃、多大の戦果を収む		南支—南寧、南東、方
一一、二三	航空部隊は全力を擧げて陸軍部隊の南寧攻撃戦に協力、百餘飛行場を爆撃して大戦果を収め、又陸軍各部隊間の連絡に寄與す		南支—南寧、南東、方
一一、二四	航空部隊は引き続き陸軍部隊の南寧作戰に協力、多大の戦果を収む、陸軍部隊南寧占領		北支—大株、柳、南支—武鳴、都、安南飛行場
一一、二五	航空部隊は西安飛行場を爆撃、兵舎、燃料庫を攻撃、大損害を與ふ		中支—西安飛行場、彭澤附近



一一、二六	航空部隊は中南支方面の敵飛行場に軍事施設を爆撃す		中支—西安 南支—芷江飛行場、 感陽、 黃栗樹
一一、二七	航空部隊は南支の敵據點を爆破し他の一部は陸軍部隊に彈藥糧食の補給を行ふ		南支—那麗圩、 八增
一一、二八	航空部隊は大舉して二十七日夕刻より二十八日未明に亘り、蘭州夜間攻撃を敢行、市街軍事施設並に東西兩飛行場の敵據點を襲ふ外、南寧方面の敵輸送に任ずる		中支—蘭州、 南支—丁橋墟、 賓陽、 陸屋圩、 靈山、 欽州、 東方
一一、二九	航空部隊は中支の敵飛行場に南支の敵據點を爆撃して陸軍作戰に協力多量の戰果を收む		中支—南陽、 南支—南寧、 八塘、 欽江、 面

一一、三〇	航空部隊は大舉して二十九日夜半より三十日午前に亘り連日蘭州夜間攻撃に於ては西安を襲撃し、中支戦場を東へ、西へ、南へ、北へ、四方に大損害を與ふるも、本攻撃中他の市街に損害を與ふるも、本攻撃中無事基地に歸還す		中支—蘭州、 西安
-------	--	--	--------------





興亞日本 印行



# 昭和十四年海軍作戰經過圖

